

令和元年度

市民まちづくりアンケート

【集計結果】

まちづくりにあなたのご意見を

令和2年2月

帯広市

(政策推進部企画課)

目次

① アンケートの概要	1
② アンケート回答者の属性	2
○あなたの性別は？ ○あなたの年齢は？	2
○あなたの職業は？ ○あなたの居住年数は？	3
○お住まいの地区	4
③ 住みごころ	5
○帯広市の住みごころは？	5
○住みごころが悪いと思う理由は？	7
④ 定住意識	8
○これからも帯広市に住み続けたい？	8
○住み続けたい理由は？	10
○移りたい地域は？	11
○移りたい理由は？	12
⑤ 暮らしぶり	13
○あなたの健康状態は？	13
○この1年間に運動・スポーツを実施したか？	14
○運動・スポーツを週に1日以上実施しなかった理由は？	15
○運動・スポーツの実施以外でのスポーツとの関わりは？	16
○この1年間に生涯学習を行ったか？	17
○どのような生涯学習を行ったか？	18
○生涯学習を行わなかった理由は？	19
○この1年間に文化芸術を直接鑑賞したか？	20

○文化芸術を直接鑑賞しなかった理由は？	・・・・・・・・	21
○文化芸術に関わる活動を行ったか？	・・・・・・・・	22
○この1年間に地域社会活動を行ったか？	・・・・・・・・	23
○地域社会活動の頻度は？	・・・・・・・・	24
○地域社会活動を行わなかった理由は？	・・・・・・・・	25
○行政情報を分かりやすく知ることができるか？	・・・・・・・・	26
○行政情報の入手方法は？	・・・・・・・・	27
○行政情報をわかりやすく知ることができない理由は？	・・・・・・・・	28
○まちづくりのために有効に税金が使われていると思うか？	・・・・・・・・	29
○有効に税金が使われていないと思う理由は？	・・・・・・・・	30
⑥ 自由記述意見 （まちづくりに対する意見・提案）	・・・・・・・・	31
参考資料）市民まちづくりアンケート票	・・・・・・・・	32

1

アンケートの概要

◇目的

このアンケートは、帯広市の住みごちやまちづくりに係る市民の皆様の活動・意識などについて調査することを目的としています。

アンケート結果は、市の仕事を効果的に進めるための重要な情報として活用させていただきます。

◇内容

このアンケートは、次の2区分について実施しました。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・(問1～10)
- (2) 暮らしぶりについて・・・(問11～28)

◇対象地域

帯広市内

◇対象者

満18歳以上の帯広市民

◇標本数

3,000人

◇標本抽出方法

無作為抽出

◇調査方法

郵便による発送・回収

◇調査時期

令和元年12月20日(金)～令和2年1月13日(月)

◇回収結果

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
R元年度	3,000	3,000	1,481	49.4

【年次推移】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H30年度	4,500	4,500	2,176	48.4
H29年度	4,500	4,500	2,308	51.3
H28年度	4,500	4,500	2,369	52.6
H27年度	3,000	3,000	1,559	52.0
H26年度	3,000	3,000	1,534	51.1
H25年度	3,000	3,000	1,404	46.8
H24年度	3,000	3,000	1,375	45.8
H23年度	3,000	3,000	1,374	45.8
H22年度	3,000	3,000	1,349	45.0
H21年度	3,000	3,000	1,194	39.8
H20年度	3,000	2,996	1,126	37.6
H19年度	3,000	2,957	1,144	38.7

◇アンケートの精度

本調査の回収数は、1,481件で、信頼度95%・標本誤差を5%とした場合の統計学上の必要標本数384件を上回り、本調査から得られた分析結果は、帯広市全体としての意見を推定するために、十分な精度を得ています。

【必要サンプル数の算出式】

$$n \geq N \div [(e \div 1.96)^2 \times (N - 1) \times 4] + 1$$

N=母集団の数(調査対象者数)(=142,658人:令和元年9月30日現在の18歳以上人口)

e=標本誤差(=0.05)

n=必要標本数

(※ 1.96は上記の信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数)

計算の結果、 $n \geq 383.1310 \dots$ となり、必要サンプル数は384となります。

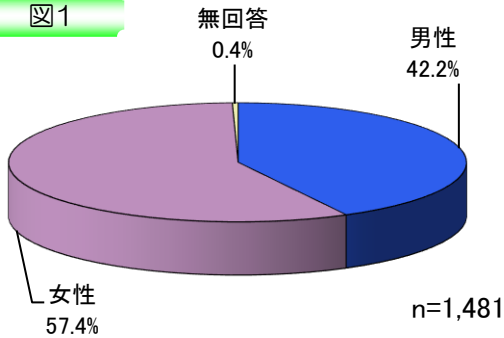
2

アンケート回答者の属性

◆小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
 ◆回答数を(n=)で表示しています。

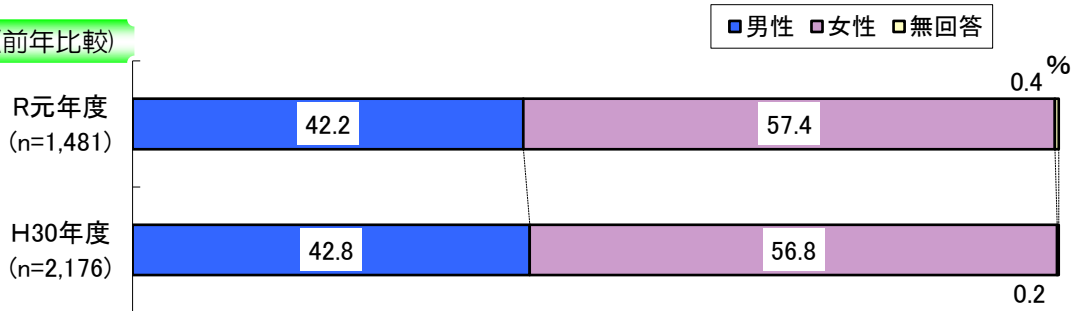
問1 あなたの性別は？

図1



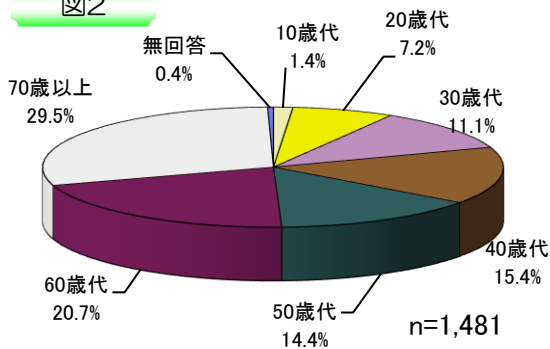
性別では、
 [男性] 42.2% (625人)、
 [女性] 57.4% (850人)、
 [無回答] 0.4% (6人)となり、
 [女性]の割合が高くなっています。
 (図1)

参考(前年比較)



問2 あなたの年齢は？

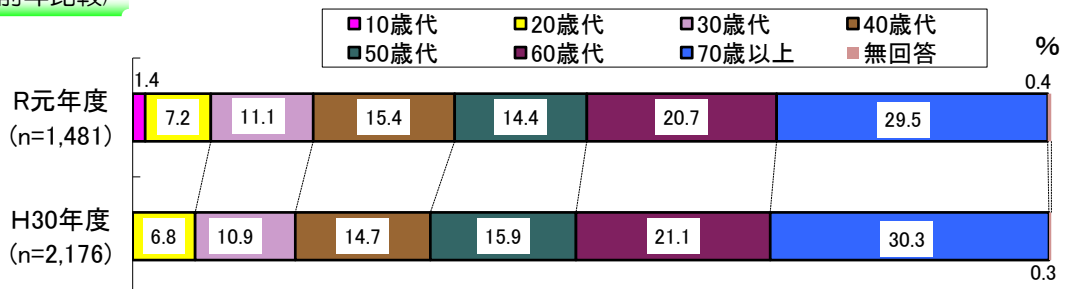
図2



年齢別では、
 [10歳代] 1.4% (20人)、
 [20歳代] 7.2% (106人)、
 [30歳代] 11.1% (165人)、
 [40歳代] 15.4% (228人)、
 [50歳代] 14.4% (213人)、
 [60歳代] 20.7% (306人)、
 [70歳以上] 29.5% (437人)、
 [無回答] 0.4% (6人)となり、
 年代が上がるにつれて割合が高くなっ
 ています。(図2)

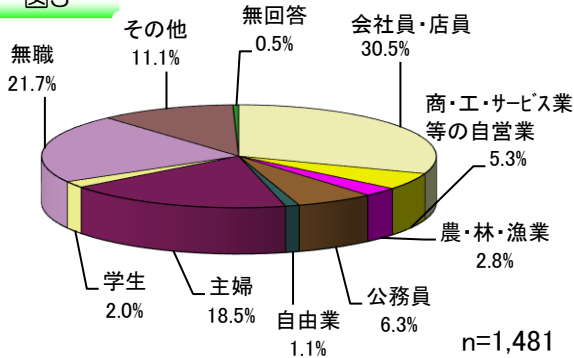
* 平成30年度までは、満20歳以上の帯広市民を対象として調査

参考(前年比較)



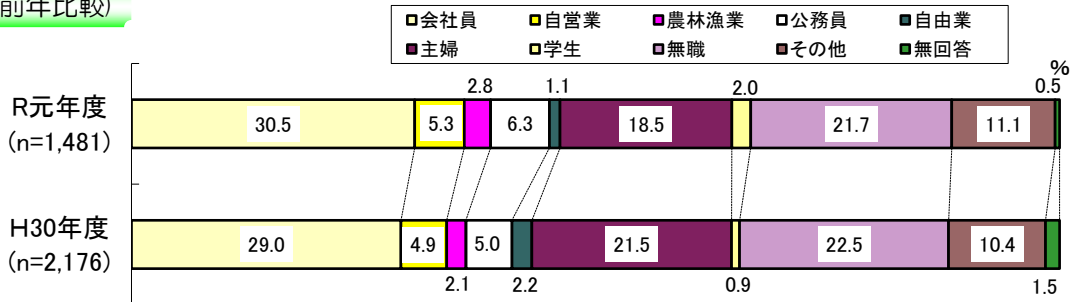
問3 あなたの職業は？

図3



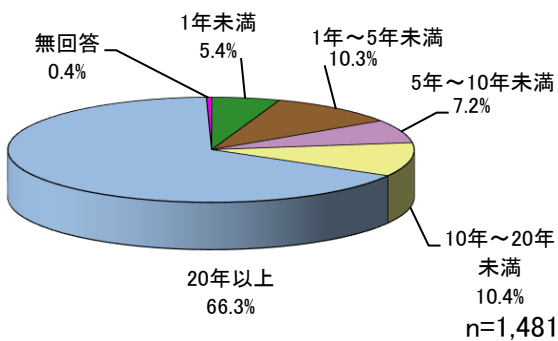
職業別では、
 [会社員・店員] 30.5% (452人)、
 [商・工・サービス業等の自営業] 5.3% (79人)、
 [農・林・漁業] 2.8% (42人)、
 [公務員] 6.3% (94人)、
 [自由業] 1.1% (17人)、
 [主婦] 18.5% (274人)、
 [学生] 2.0% (30人)、
 [無職] 21.7% (321人)、
 [その他] 11.1% (165人)、
 [無回答] 0.5% (7人)となり、
 [会社員・店員]、[主婦]、[無職]が多くなっています。(図3)

参考(前年比較)



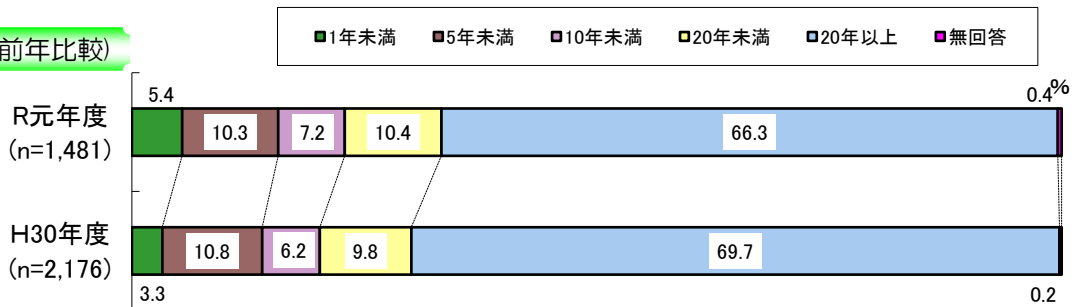
問4 あなたの居住年数は？

図4

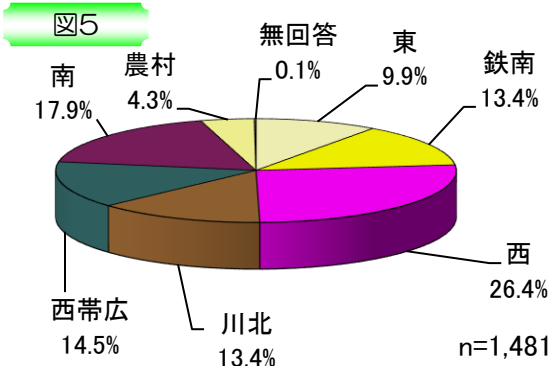


居住年数別では、
 [1年未満] 5.4% (80人)、
 [1年～5年未満] 10.3% (153人)、
 [5年～10年未満] 7.2% (106人)、
 [10年～20年未満] 10.4% (154人)、
 [20年以上] 66.3% (982人)、
 [無回答] 0.4% (6人)となり、
 [20年以上]が、全体の6割以上を占めています。(図4)

参考(前年比較)



お住まいの地区

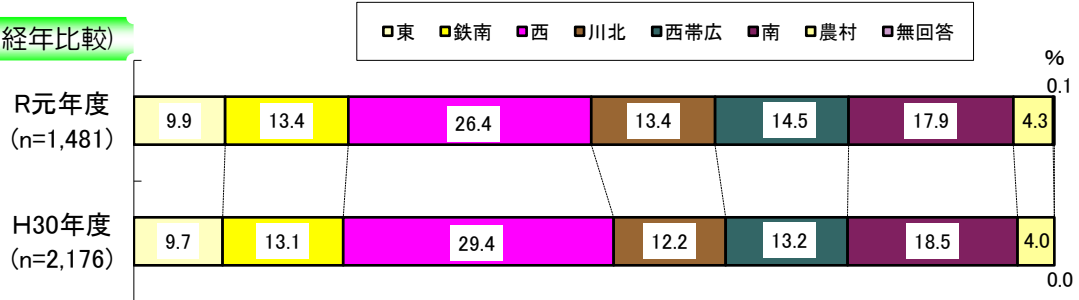


地区別では、

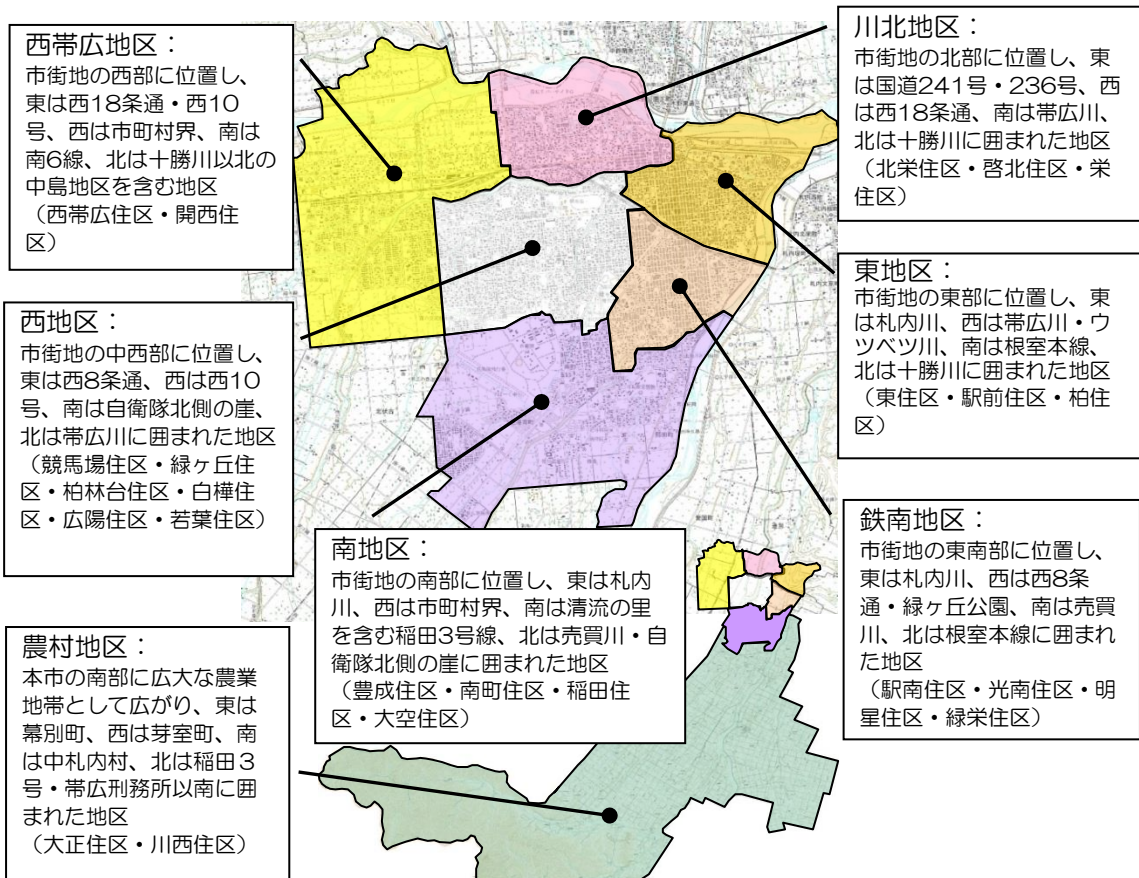
- [東] 9.9% (147人)、
- [鉄南] 13.4% (198人)、
- [西] 26.4% (391人)、
- [川北] 13.4% (199人)、
- [西帯広] 14.5% (215人)、
- [南] 17.9% (265人)、
- [農村] 4.3% (64人)、
- [無回答] 0.1% (2人)となっています。

(図5)

参考(経年比較)



◆帯広市では下図のとおり7つの地区を設定しています。

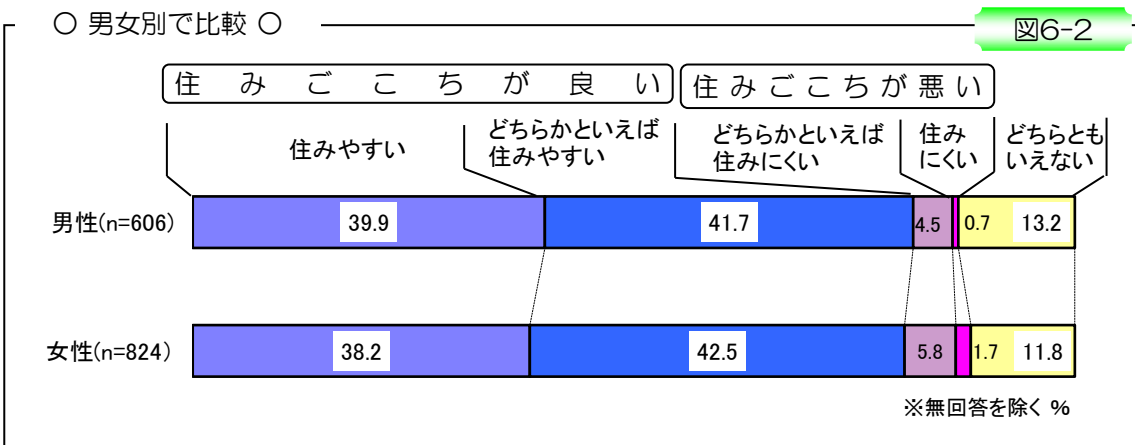
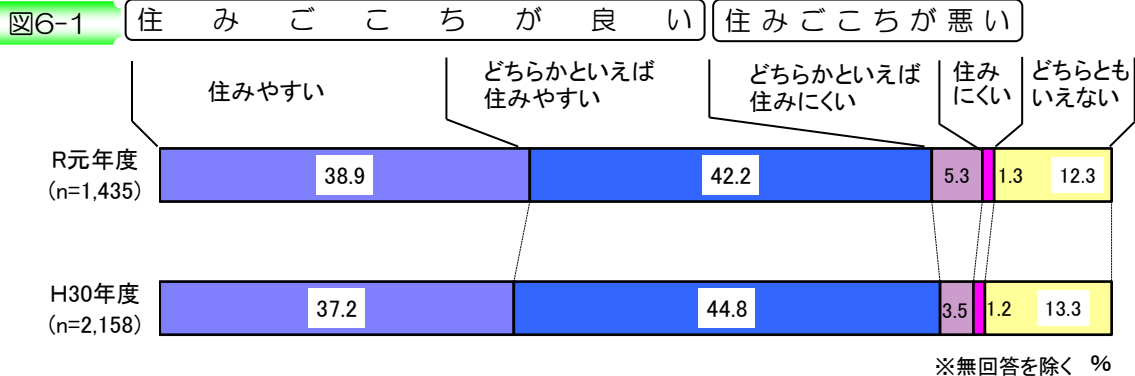


3

住みごこち

問5 帯広市の住みごこちは？

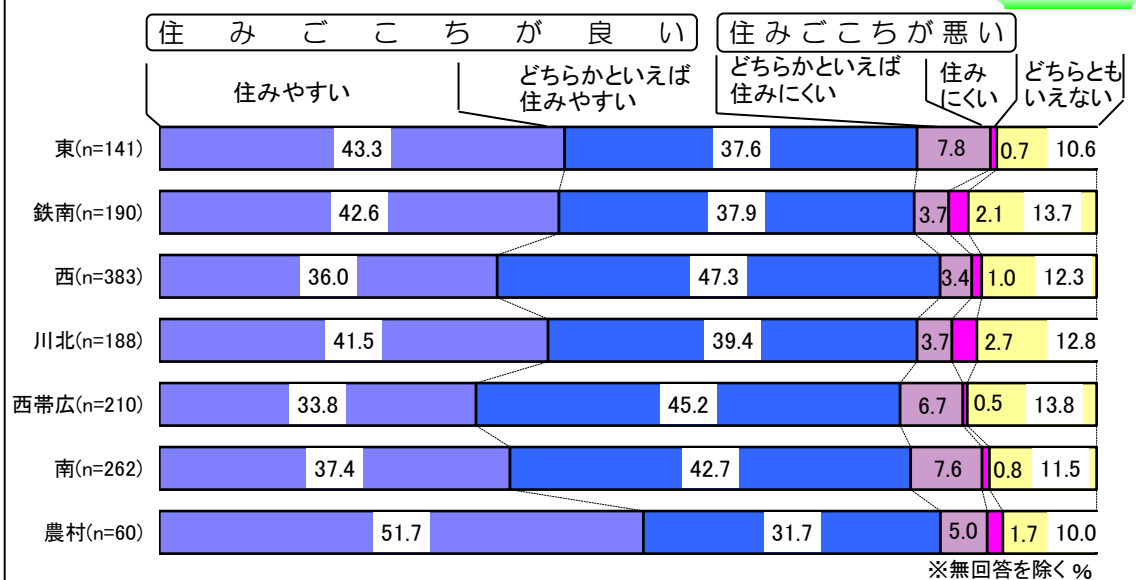
- 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みごこちが良い”とした人の割合は、昨年度より0.9ポイント減少し、81.1%（1,164人）となっています。
なお、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた、“住みごこちが悪い”とした割合は、6.6%（94人）となっています。（図6-1）
- 男女別で“住みごこちが良い”とした割合は、[男性]81.7%（495人）、[女性]80.7%（665人）となっており、[男性]の割合が若干高くなっています。（図6-2）
- 地区別で“住みごこちが良い”とした割合は、[農村地区]83.3%（50人）、[西地区]83.3%（319人）が、他の地区と比べて若干高くなっています。（図6-3）
- 年代別で“住みごこちが良い”とした割合は、年代が上がるにつれて“住みごこちが良い”とする割合が高くなる傾向にあります。（図6-4）
- 居住年数別で“住みごこちが良い”とした割合は、[20年以上]83.9%（802人）と、最も高くなっています。居住年数が長くなるほど、“住みごこちが良い”とした割合が高くなる傾向があります。（図6-5）



問5 帯広市の住みごごちは？

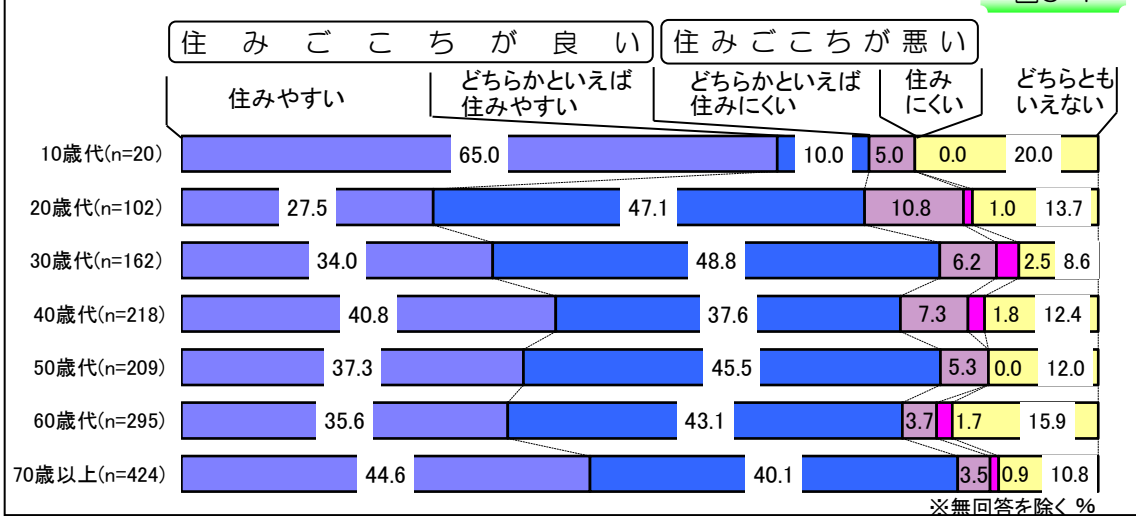
○ 地区別で比較 ○

図6-3



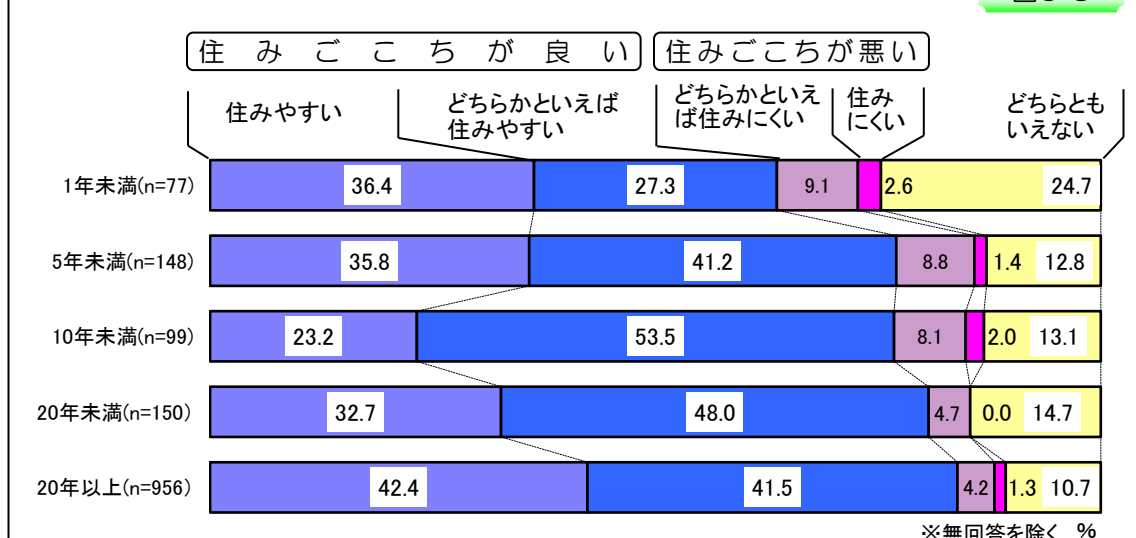
○ 年代別で比較 ○

図6-4



○ 居住年数別で比較 ○

図6-5

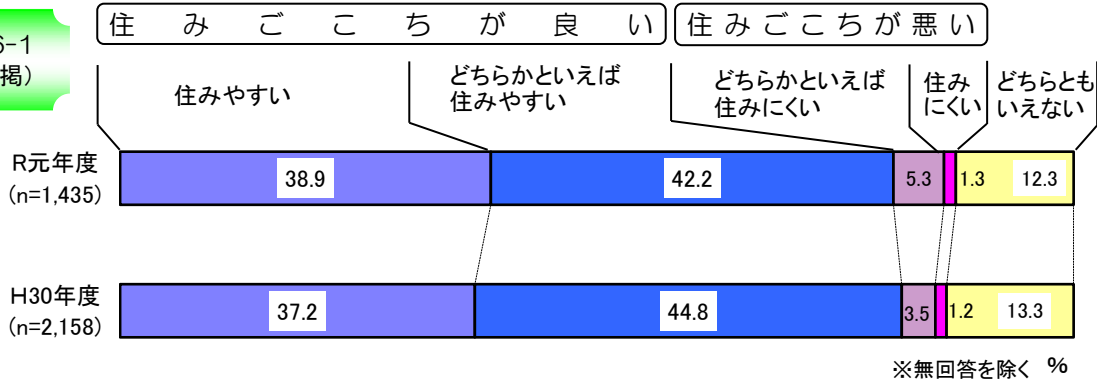


問6 住みごこちが悪いと思う理由は？

◇「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」と回答した94人に、「住みごこちが悪い」とした理由を9つの選択肢から2つ、回答してもらいました。

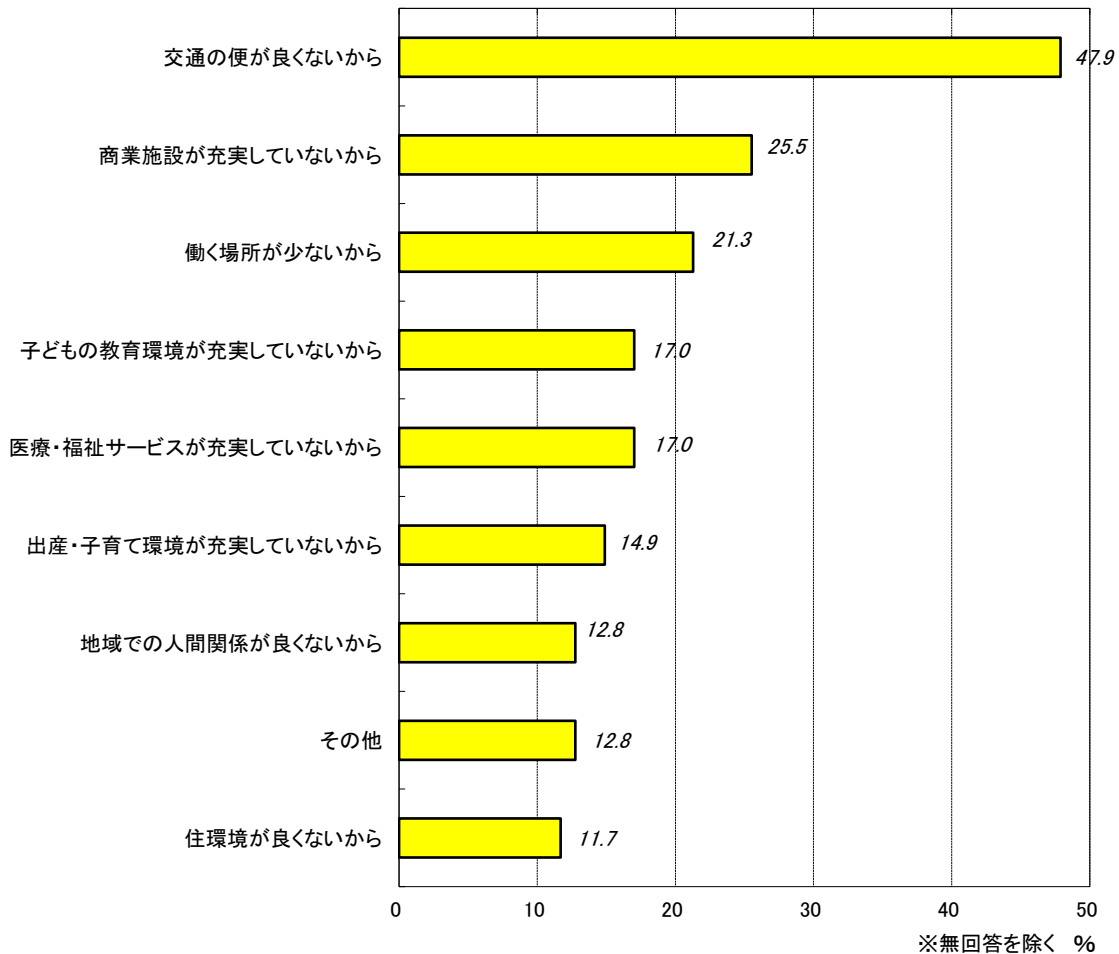
⑤ “住みごこちが悪い”とした理由としては、[交通の便が良くないから]が最も多く47.9% (45人)、2番目に多い理由は[商業施設が充実していないから]で25.5% (24人)、3番目は[働く場所が少ないから]で21.3% (20人)となっています。(図6-6)

図6-1
(再掲)



住みごこちが悪い理由 (n=94)

図6-6

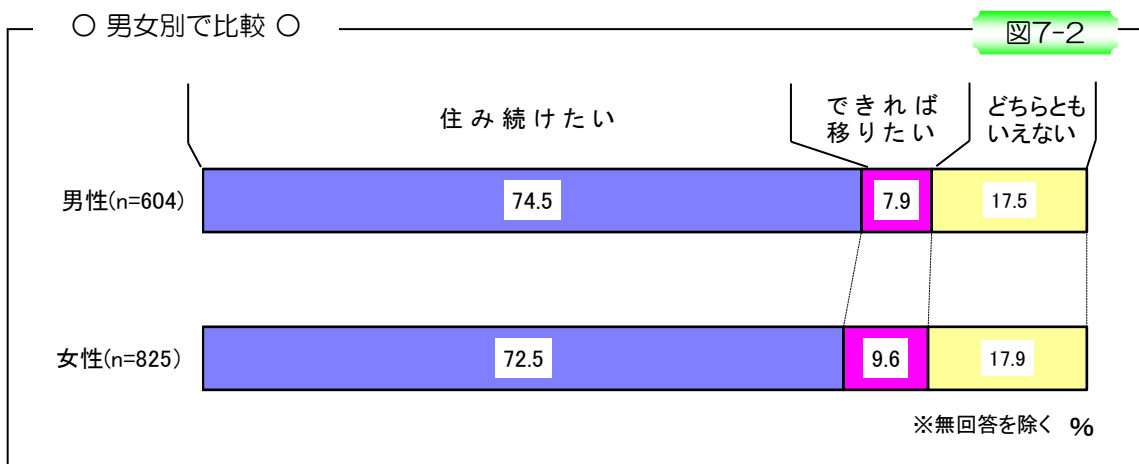
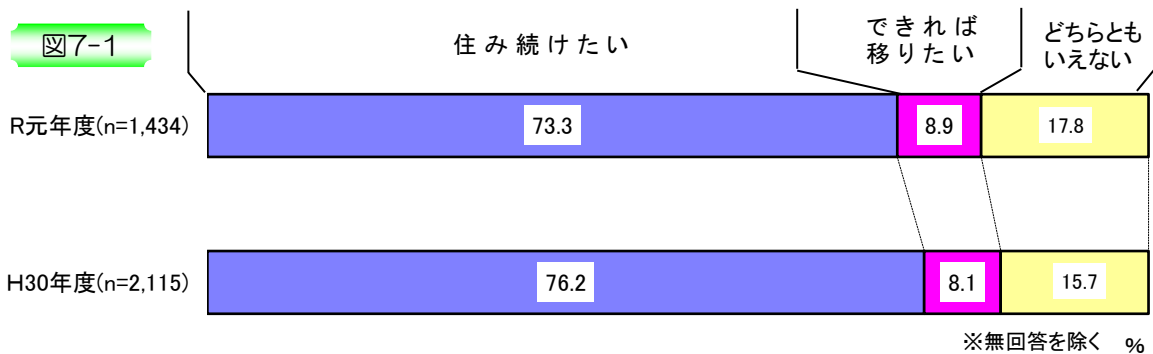


4

定住意識

問7 これからも帯広市に住み続けたい？

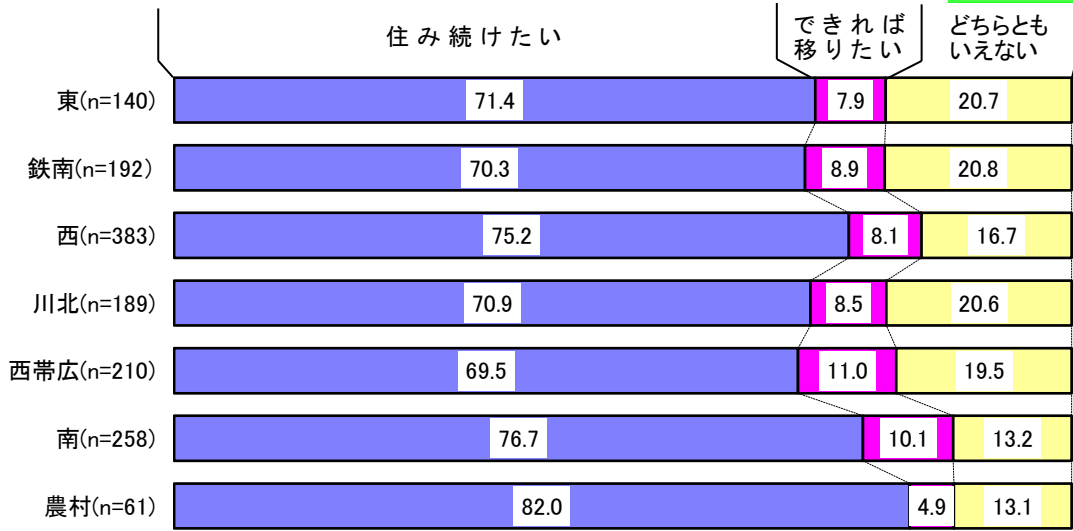
- 「住み続けたい」とした人の割合は、昨年度と比較すると、2.9ポイント減少し、73.3% (1,051人) となっています。(図7-1)
- 男女別で「住み続けたい」とした割合は、[男性]74.5% (450人)、[女性]72.5% (598人) となっています。(図7-2)
- 地区別で「住み続けたい」とした割合は、[農村地区]82.0% (50人) が最も高くなっています。(図7-3)
- 年代が上がるにつれて「住み続けたい」とした割合が高くなる傾向があります。(図7-4)
- 居住年数が長くなるにつれて「住み続けたい」とした割合が高くなる傾向があります。(図7-5)



問7 これからも帯広市に住み続けたい？

○ 地区別で比較 ○

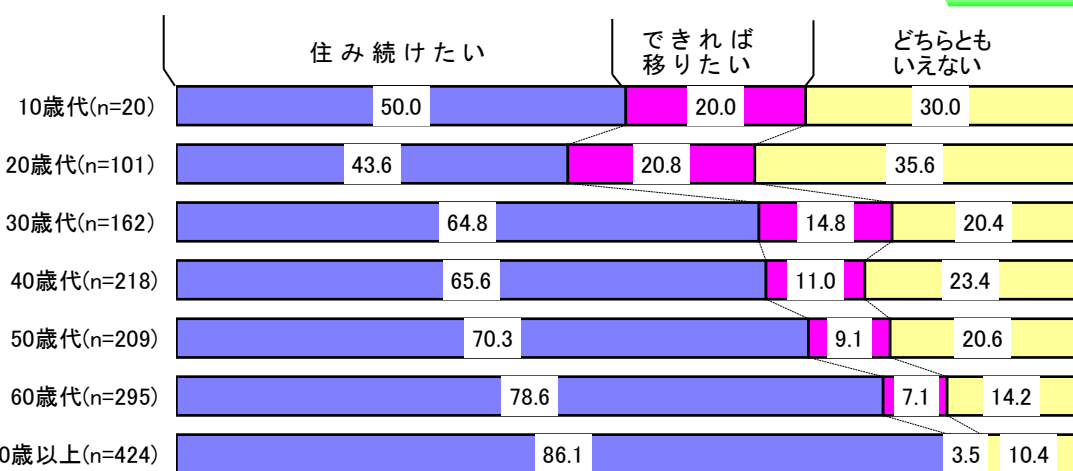
図7-3



※無回答を除く %

○ 年代別で比較 ○

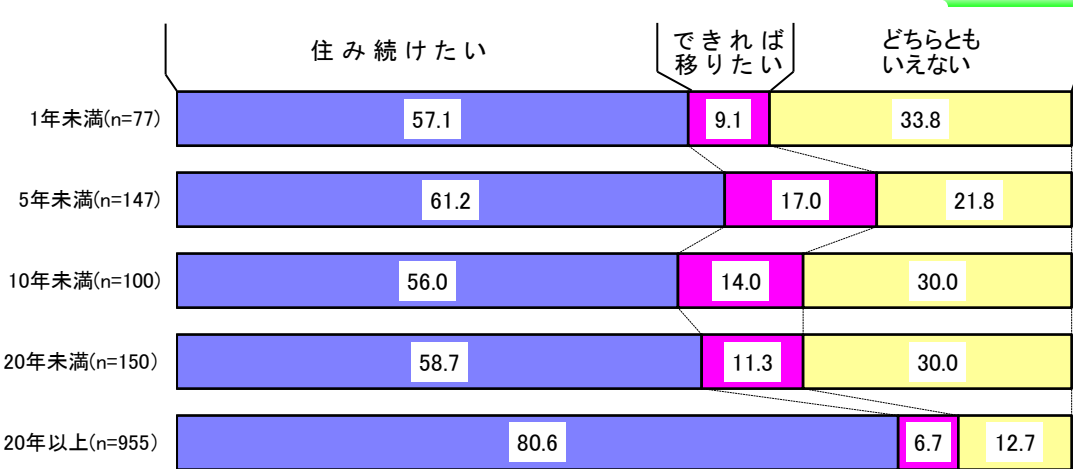
図7-4



※無回答を除く %

○ 居住年数別で比較 ○

図7-5

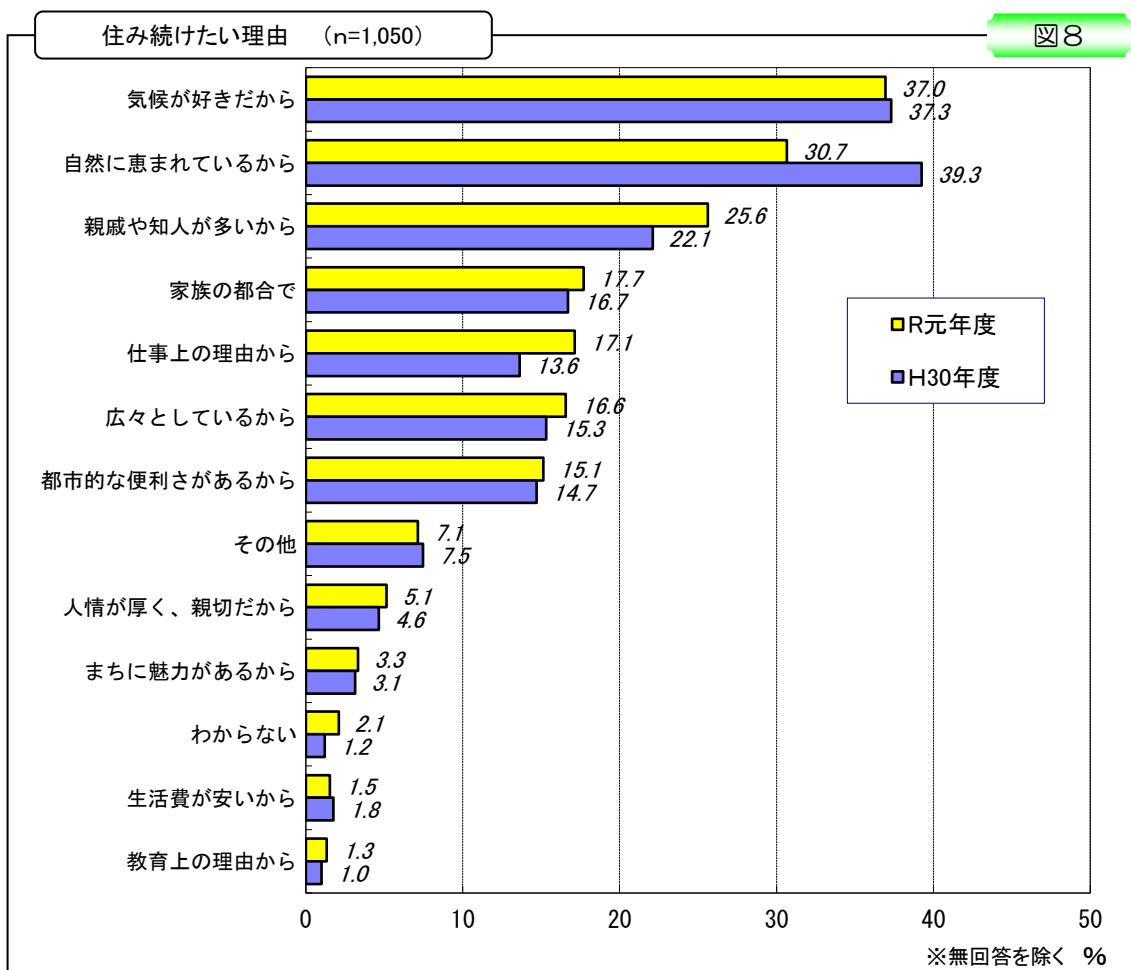
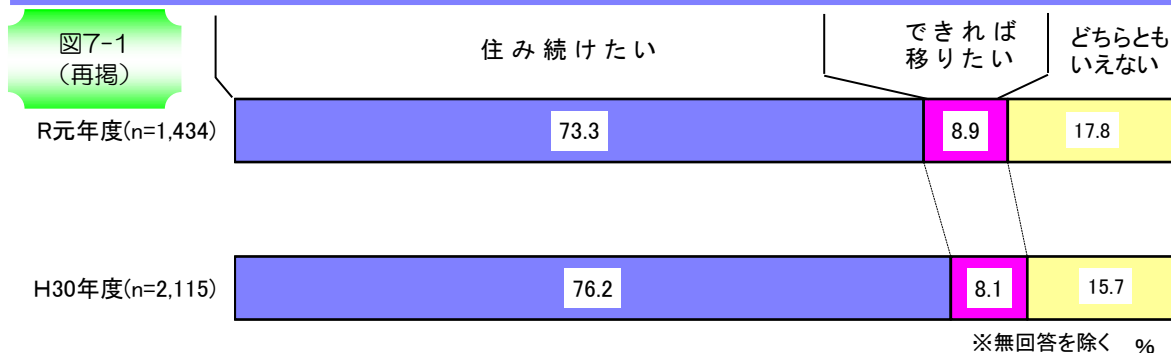


※無回答を除く %

問8 住み続けたい理由は？

◇「住み続けたい」と回答した1,051人に、その理由を13の選択肢から2つまで回答してもらいました。

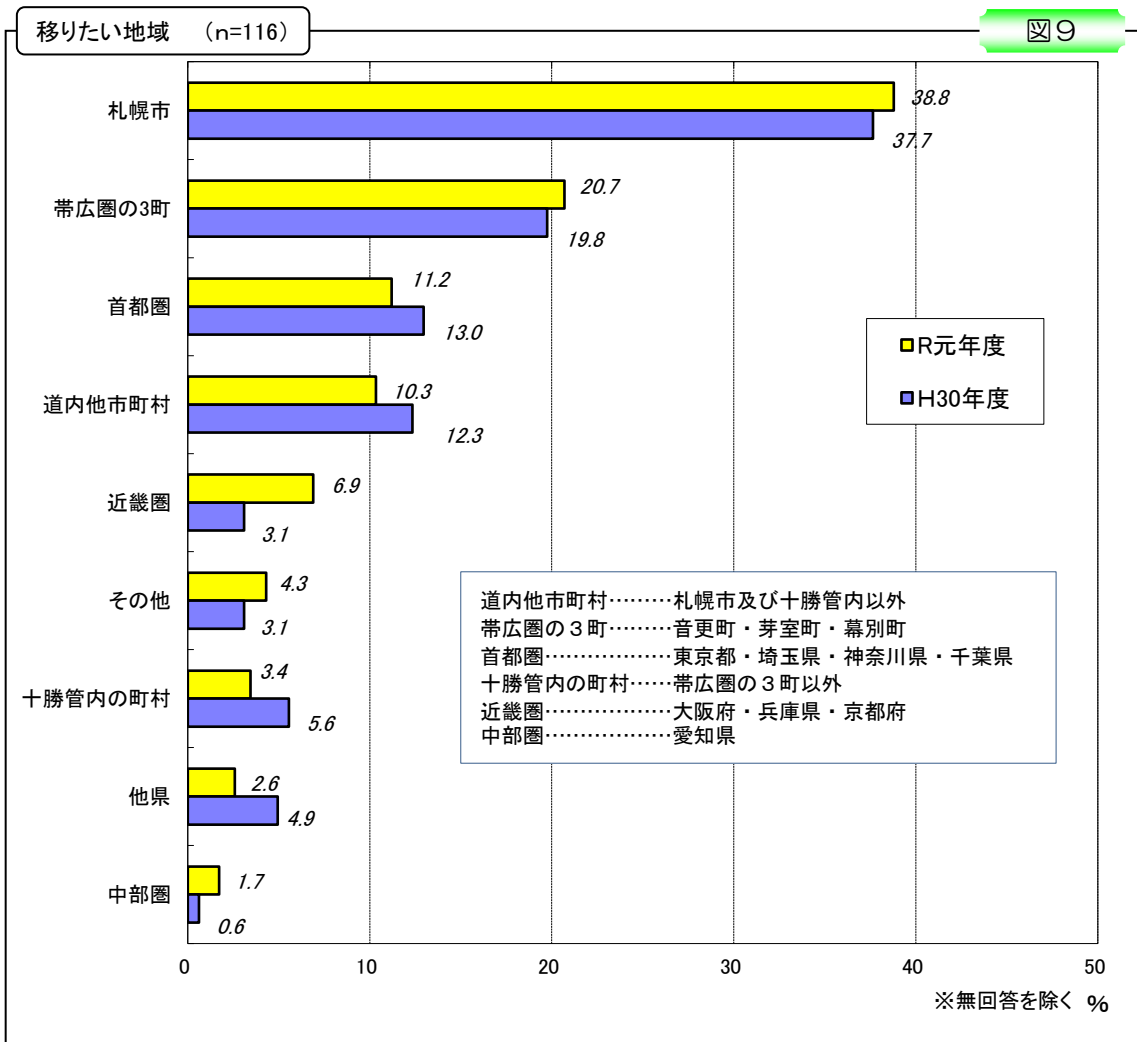
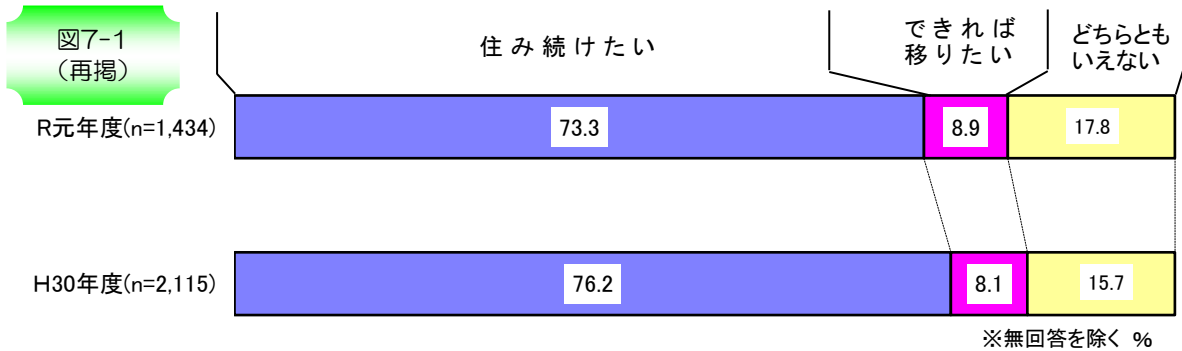
☞ 「住み続けたい」とした理由は、[気候が好きだから]が最も多く37.0% (388人)、2番目に多い理由は[自然に恵まれているから]で30.7% (322人)、3番目は[親戚や知人が多いから]で25.6% (269人)となっています。(図8)



問9 移りたい地域は？

◇「できれば移りたい」と回答した128人に、移りたい地域を9つの選択肢から1つ、回答してもらいました。

「移りたい地域」としては、[札幌市]が最も多く38.8%（45人）、2番目に多い地域は[帯広圏の3町]で20.7%（24人）、3番目は[首都圏]で11.2%（13人）となっています。（図9）

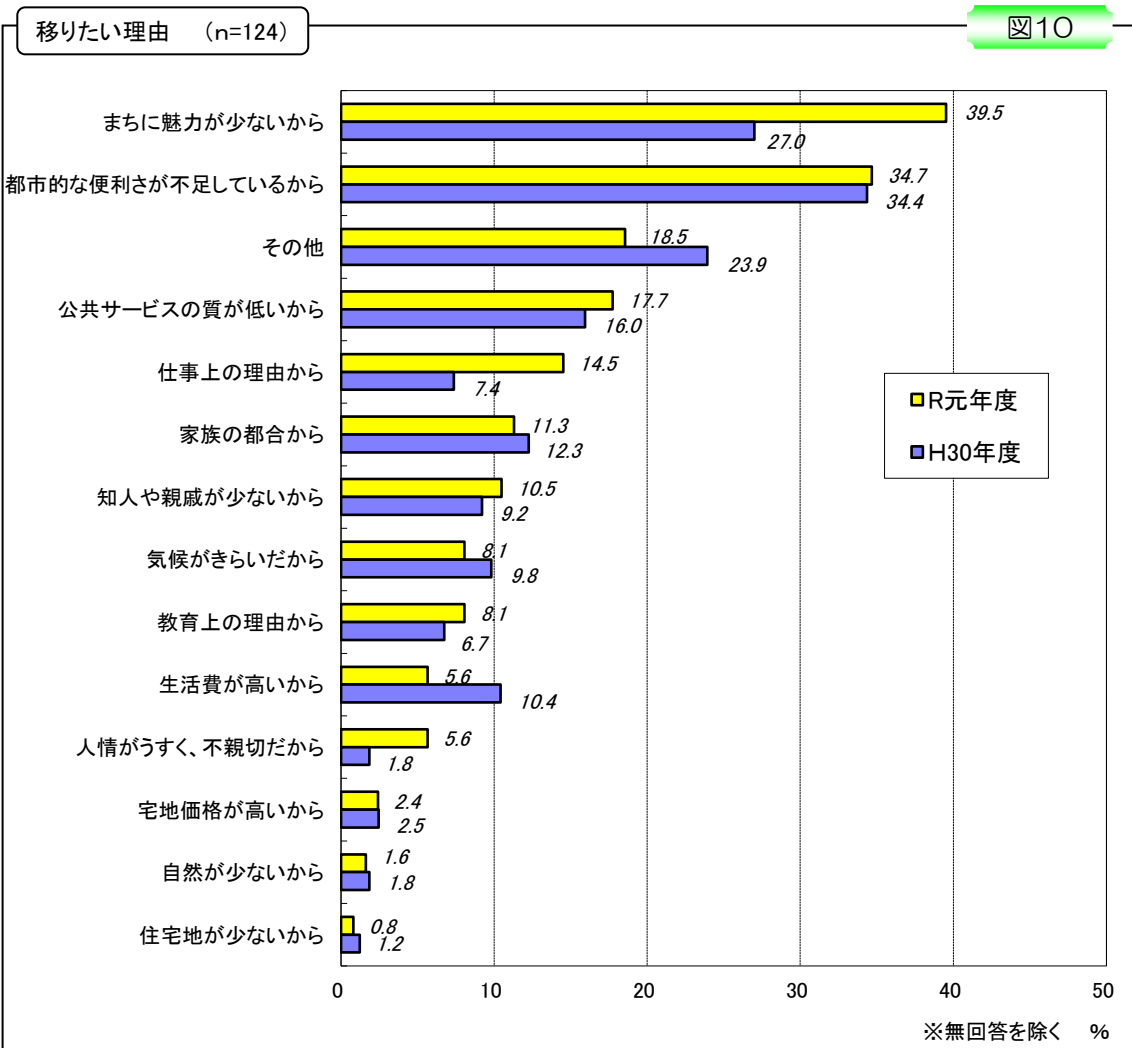
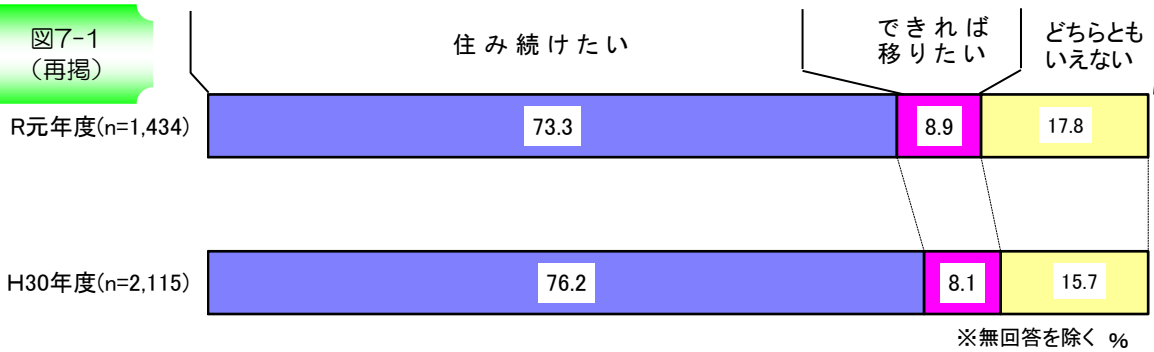


問10 移りたい理由は？

◇「できれば移りたい」と回答した128人に、移りたい理由を14の選択肢から2つまで回答してもらいました。

「移りたい理由」としては、[まちに魅力が少ないから]が最も多く39.5%（49人）、2番目に多い理由は[都市的な便利さが不足しているから]で34.7%（43人）となっています。（図10）

図7-1
(再掲)

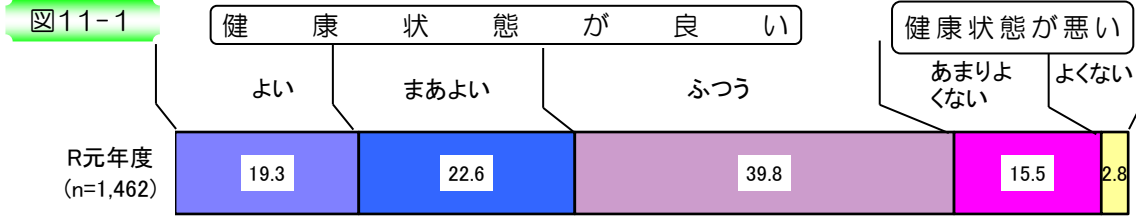


5

暮らしぶり

問1 1 あなたの健康状態は？

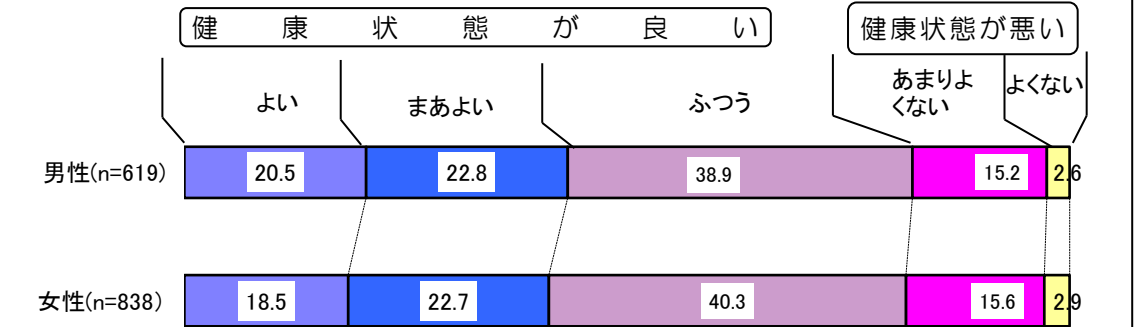
- 健康状態が「よい」、「まあよい」、「ふつう」を合わせた”健康状態が良い”とした人の割合は、81.7% (1,195人) となっています。(図11-1)
- 男女別で”健康状態が良い”とした割合は、[男性]82.2% (509人)、[女性]81.5% (683人) となっています。(図11-2)
- 年代が下がるにつれて”健康状態が良い”とした割合が高くなる傾向があります。(図11-3)



※無回答を除く %

○ 男女別で比較 ○

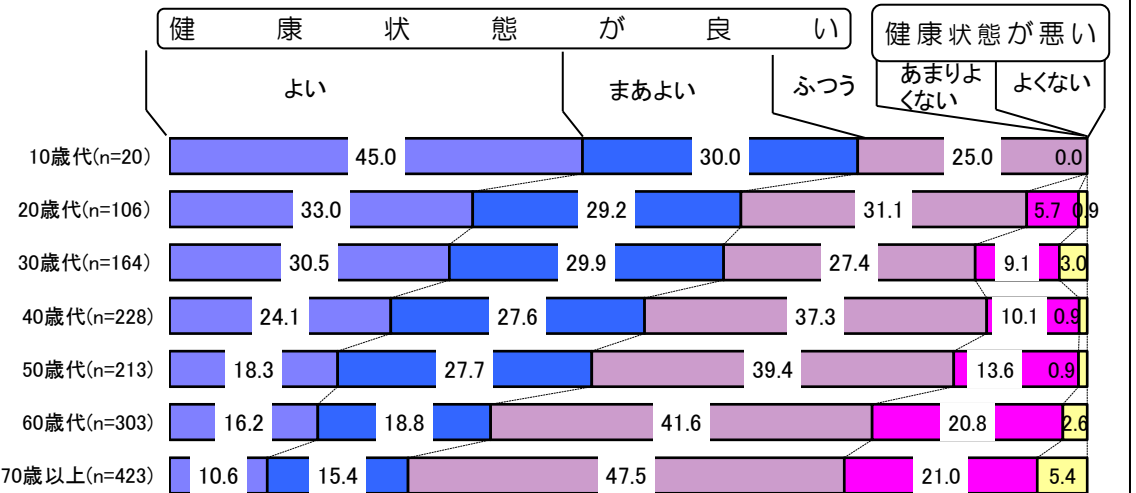
図11-2



※無回答を除く %

○ 年代別で比較 ○

図11-3

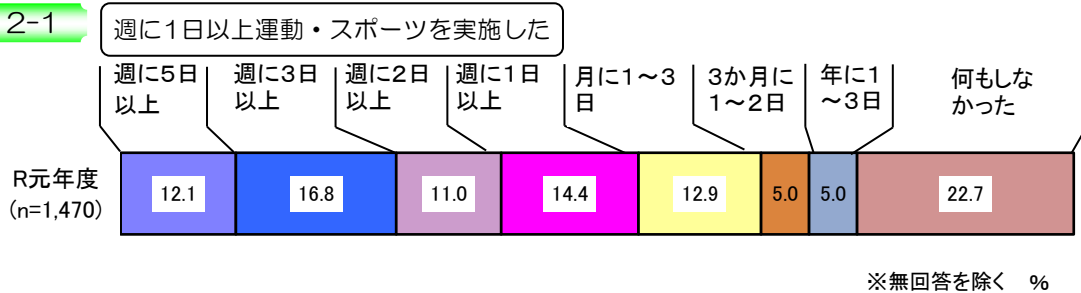


※無回答を除く %

問12 この1年間に運動・スポーツを実施したか？

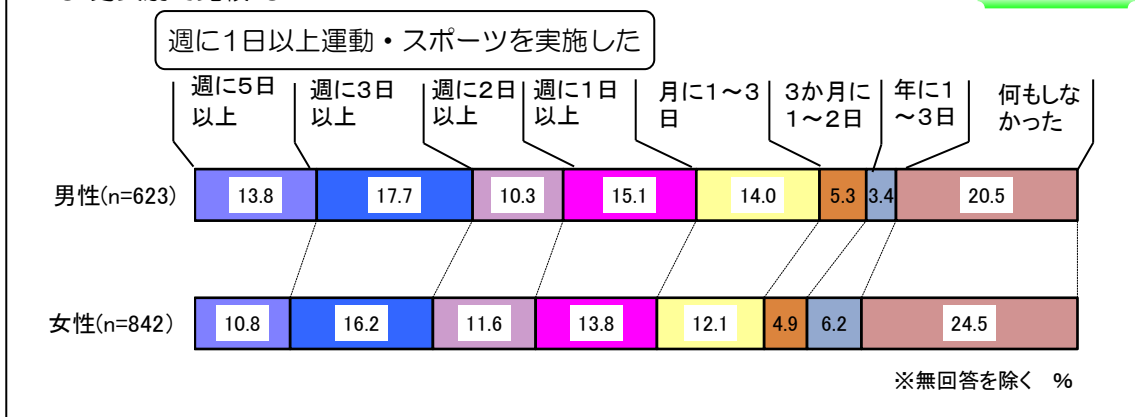
- “週に1日以上運動・スポーツを実施した”とした人の割合は、54.4%（799人）となっています。（図12-1）
- 男女別で“週に1日以上運動・スポーツをしている”とした割合は、[男性]56.8%（354人）、[女性]52.4%（441人）となっています。（図12-2）
- 40歳代が“週に1日以上運動・スポーツをしている”とした割合が最も低くなっています。（図12-3）

図12-1



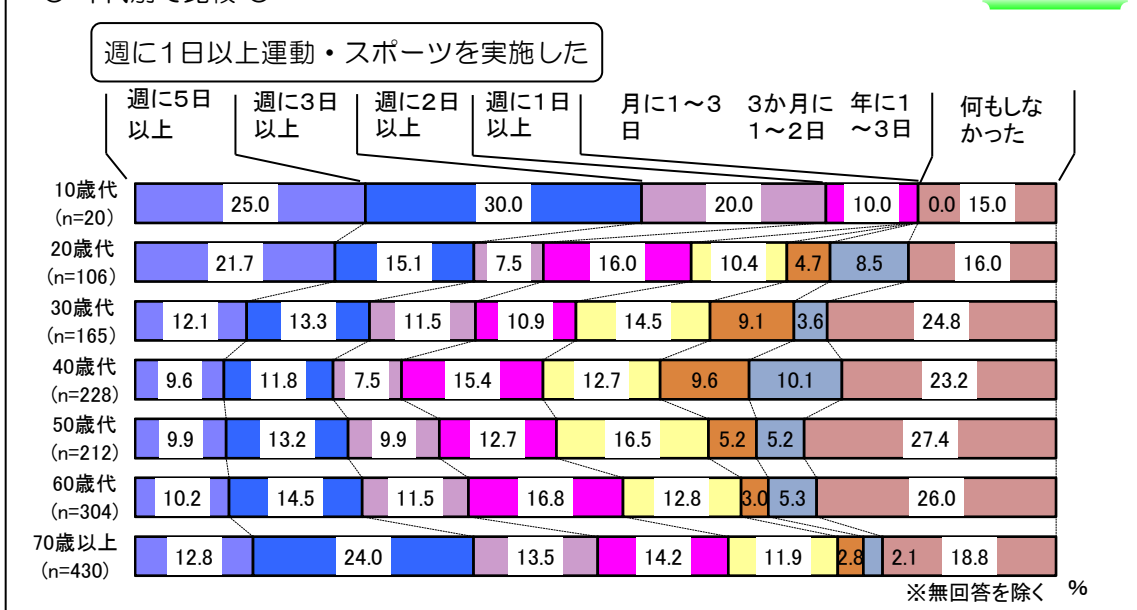
○ 男女別で比較 ○

図12-2



○ 年代別で比較 ○

図12-3

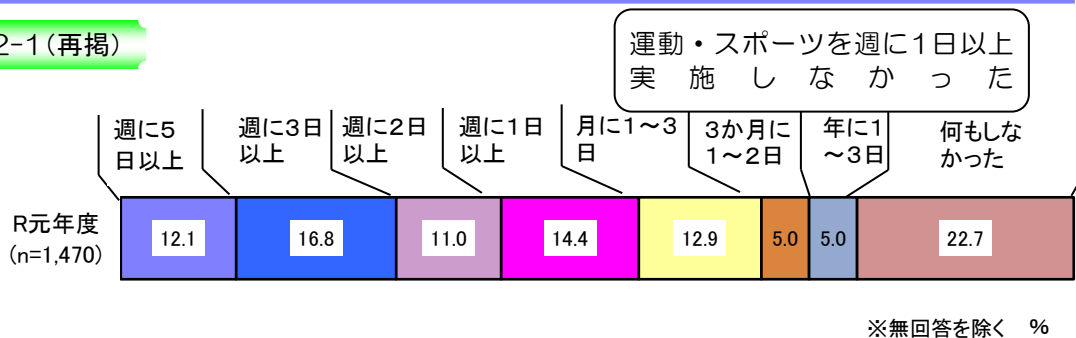


問13 運動・スポーツを週に1日以上実施しなかった理由は？

◇“運動・スポーツを週に1日以上実施しなかった”と回答した671人に、理由を14の選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

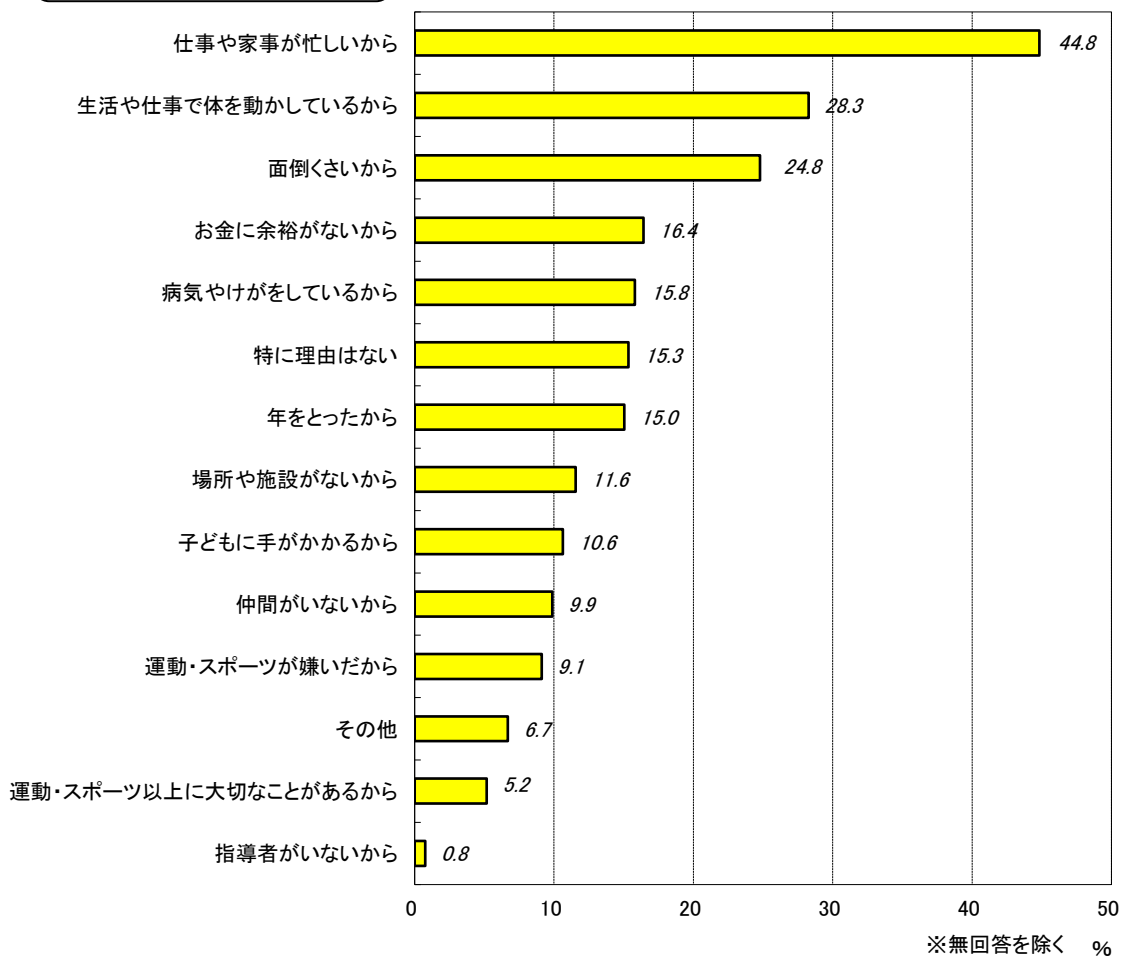
④ “運動・スポーツを週に1日以上実施しなかった”理由としては、[仕事や家事が忙しいから]が最も多く44.8%（295人）、2番目に多い理由は[生活や仕事で体を動かしているから]で28.3%（186人）、3番目は[面倒くさいから]で24.8%（163人）となっています。（図13）

図12-1(再掲)



運動・スポーツを週に1日以上実施しなかった理由 (n=658)

図13



問14 運動・スポーツの実施以外でのスポーツとの関わりは？

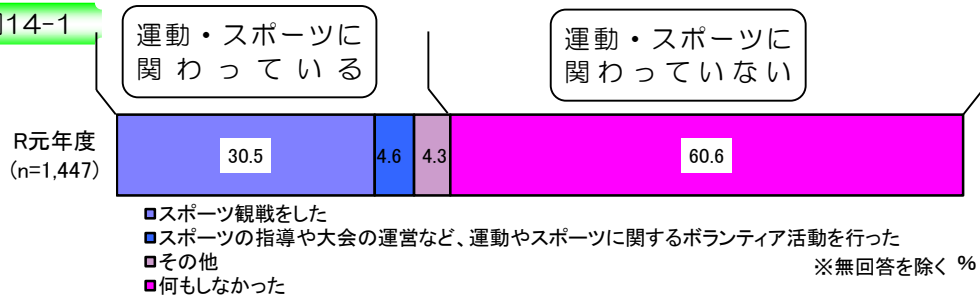
◇運動・スポーツの実施以外でのこの1年間でのスポーツとの関わりについて、4つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

④ [スポーツ観戦をした]、[スポーツの指導や大会の運営など、運動やスポーツに関するボランティア活動を行った]、[その他]を合わせた“運動・スポーツに関わっている”と回答した割合は、39.4% (570人) となっています。(図14-1)

④ 男女別で“運動・スポーツに関わっている”とした割合は、[男性]41.2% (256人)、[女性]38.1% (312人) となっています。(図14-2)

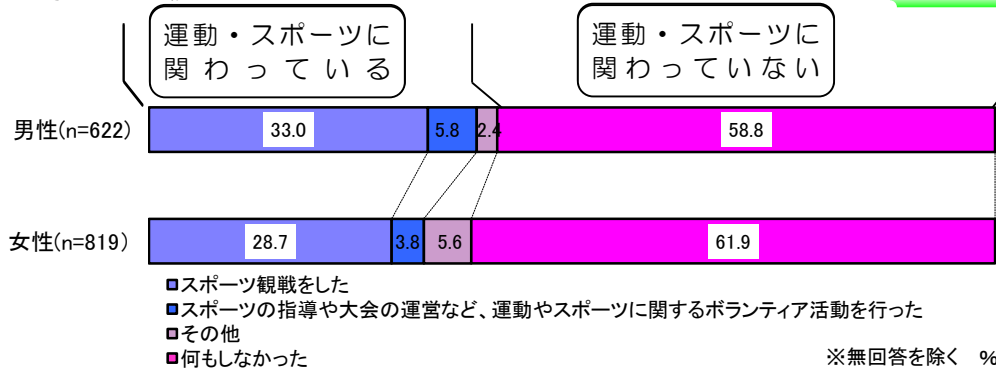
④ 10歳代が“運動・スポーツに関わっている”とした割合が最も高くなっています。(図14-3)

図14-1



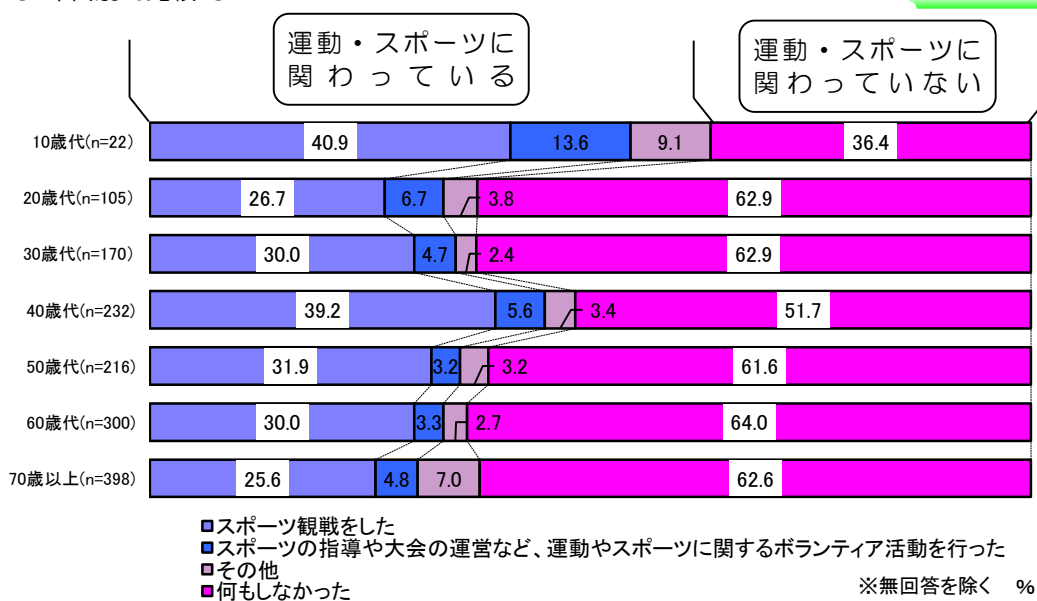
○ 男女別で比較 ○

図14-2



○ 年代別で比較 ○

図14-3



問15 この1年間に生涯学習を行ったか？

- ☞ 「生涯学習（*）を行った」とした人の割合は、28.6%（418人）となっています。（図15-1）
- ☞ 男女別で「生涯学習を行った」とした割合は、[男性]25.3%（156人）、[女性]31.1%（261人）となっています。（図15-2）
- ☞ 年代が下がるにつれて「生涯学習を行った」とした割合が高くなる傾向があります。（図15-3）

（*）生涯学習

この調査における「生涯学習」とは、人々が生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動など、学校教育から社会教育、地域社会などで学ぶさまざまな学習活動のことをいいます。

図15-1

■生涯学習を行った

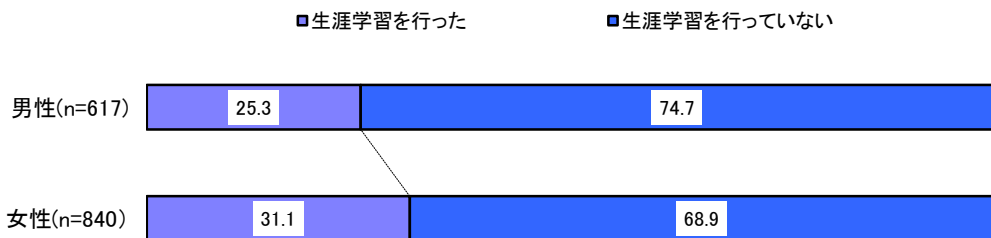
■生涯学習を行っていない



※無回答を除く %

○ 男女別で比較 ○

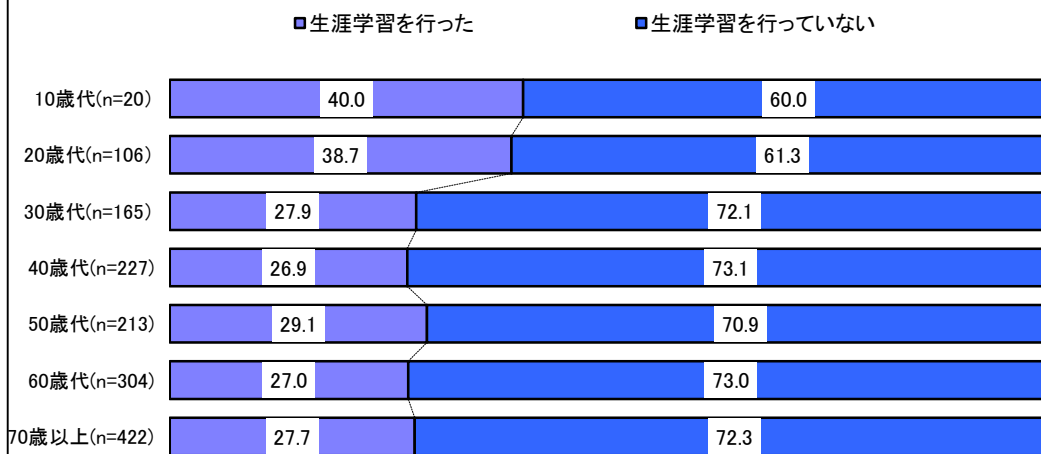
図15-2



※無回答を除く%

○ 年代別で比較 ○

図15-3



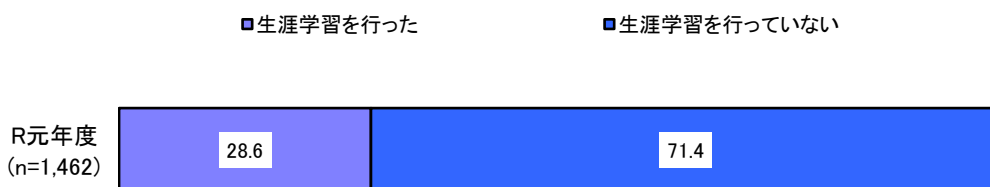
※無回答を除く%

問16 どのような生涯学習を行ったか？

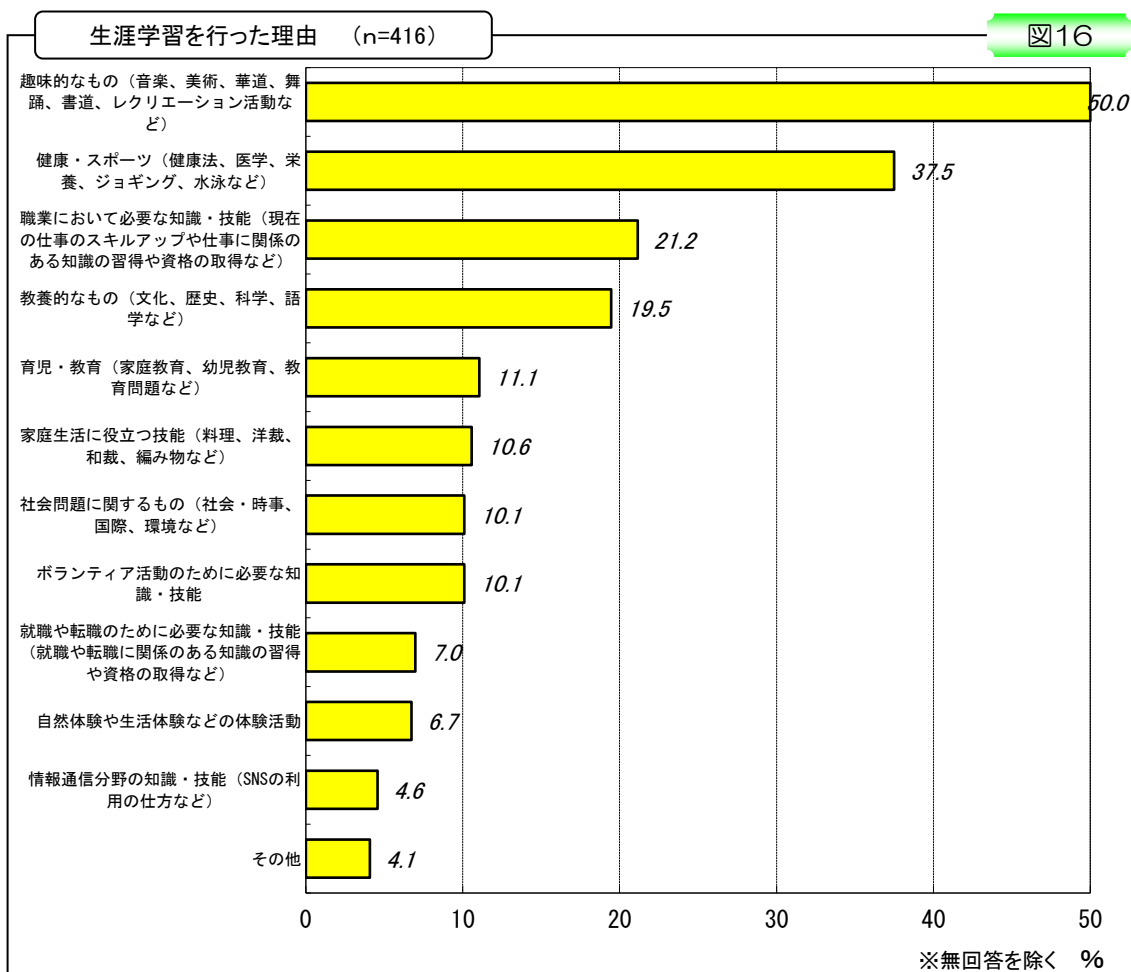
◇「生涯学習を行った」と回答した418人に、その理由を12の選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

✎ 「生涯学習を行った」とした理由は、[趣味的なもの]が最も多く50.0%(208人)、2番目に多いのは[健康・スポーツ]で37.5%(156人)、3番目は[職業において必要な知識・技能]で21.2%(88人)となっています。(図16)

図15-1 (再掲)



※無回答を除く %

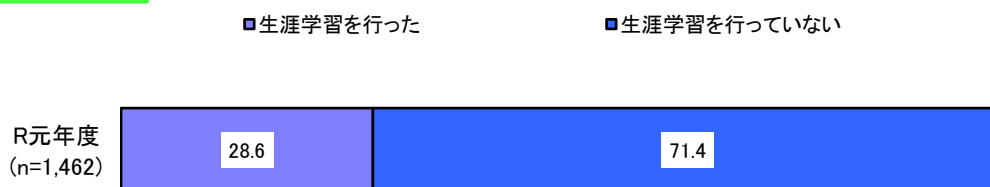


問17 生涯学習を行わなかった理由は？

◇「生涯学習を行っていない」と回答した1,044人に、その理由を14の選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

✎ 「生涯学習を行っていない」とした理由は、[仕事が忙しくて時間がないから]が最も多く、36.1%(374人)、2番目に多いのは[きっかけがないから]で32.9%(341人)、3番目は[特に理由はない]で24.0%(248人)となっています。(図17)

図15-1 (再掲)



※無回答を除く %

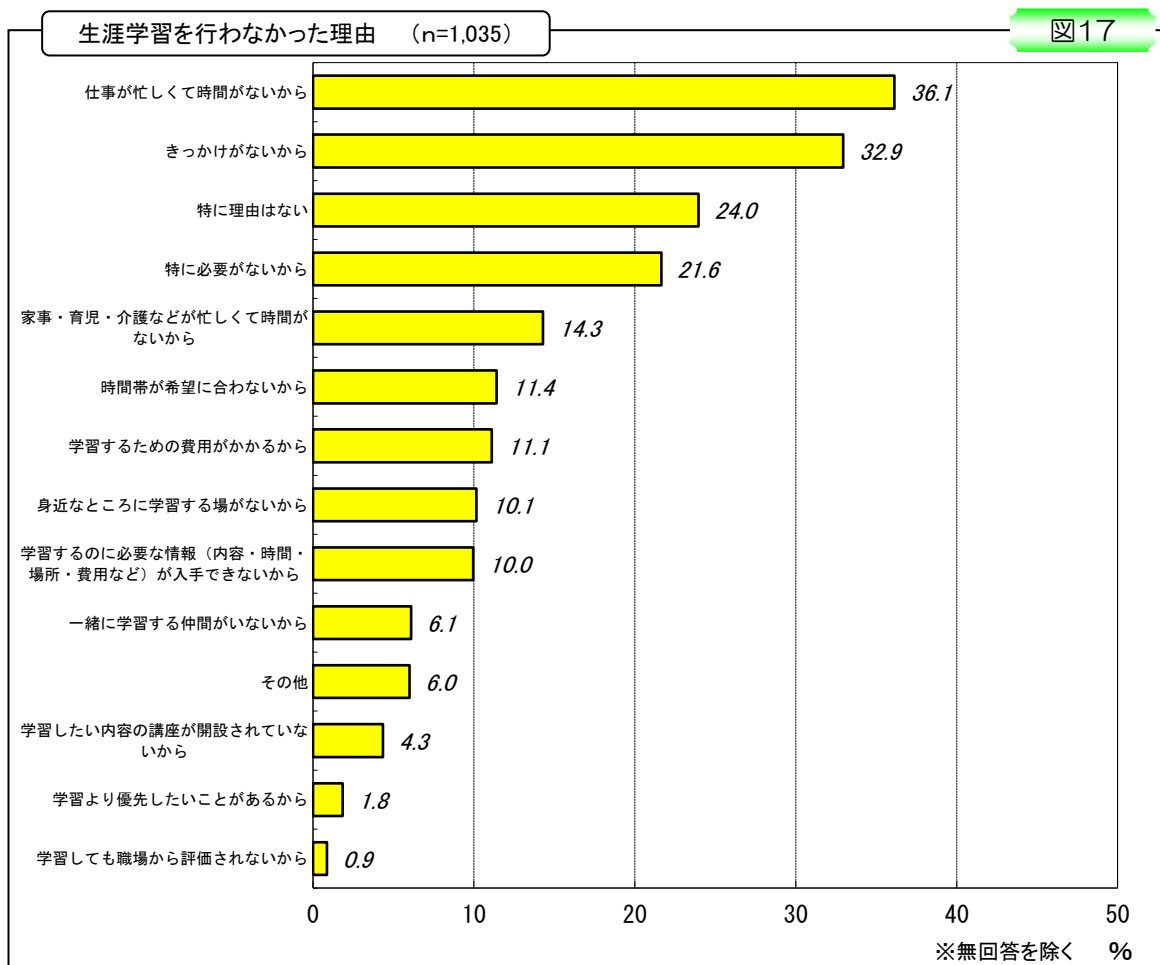


図17

※無回答を除く %

問18 この1年間に文化芸術を直接鑑賞したか？

「文化芸術を直接鑑賞した」とした人の割合は、64.7% (940人) となっています。(図18-1)

「文化芸術を直接鑑賞した」とした内訳は、[美術] が最も多く44.5% (418人)、2番目に多いのは[映画] で43.0% (404人)、3番目は [音楽] で42.6% (400人) となっています。(図18-2)

図18-1



※無回答を除く %

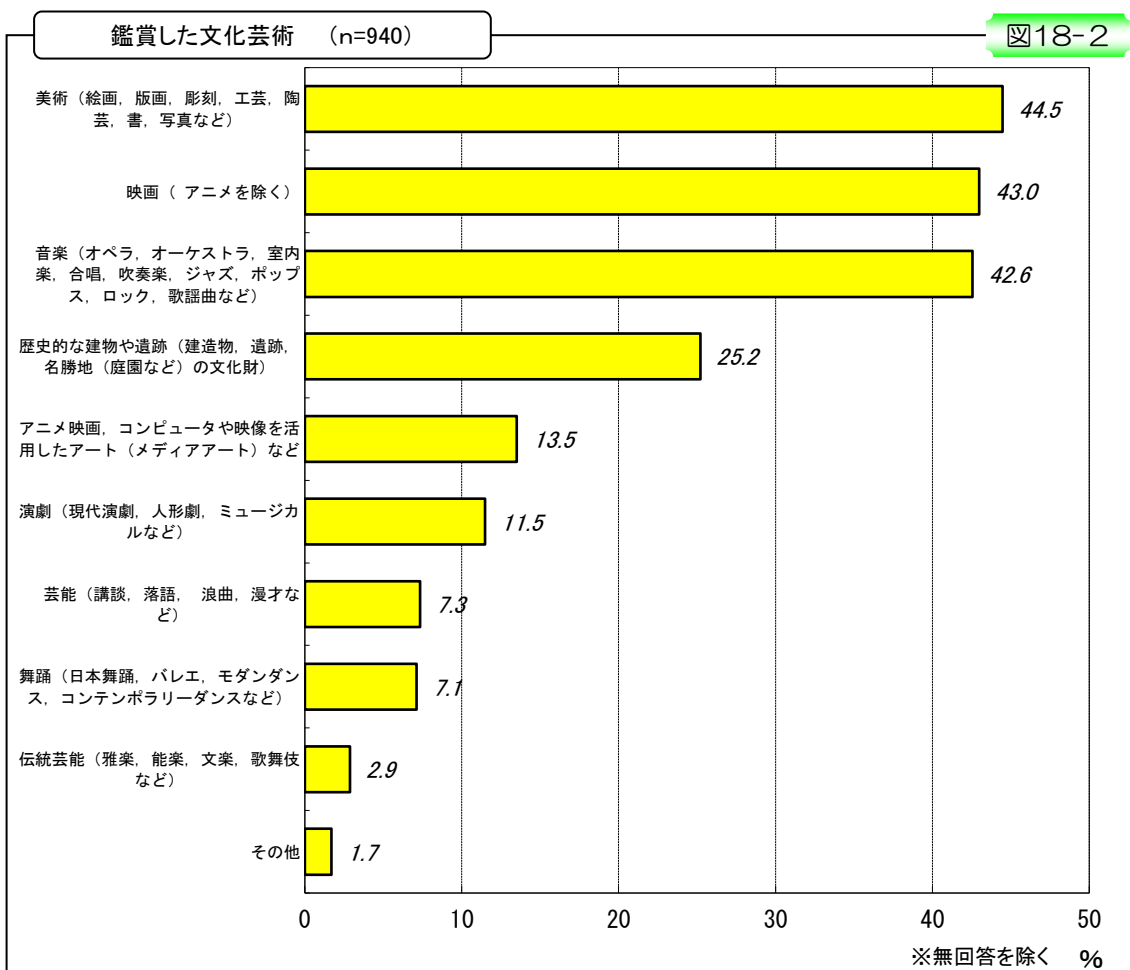


図18-2

問19 文化芸術を直接鑑賞しなかった理由は？

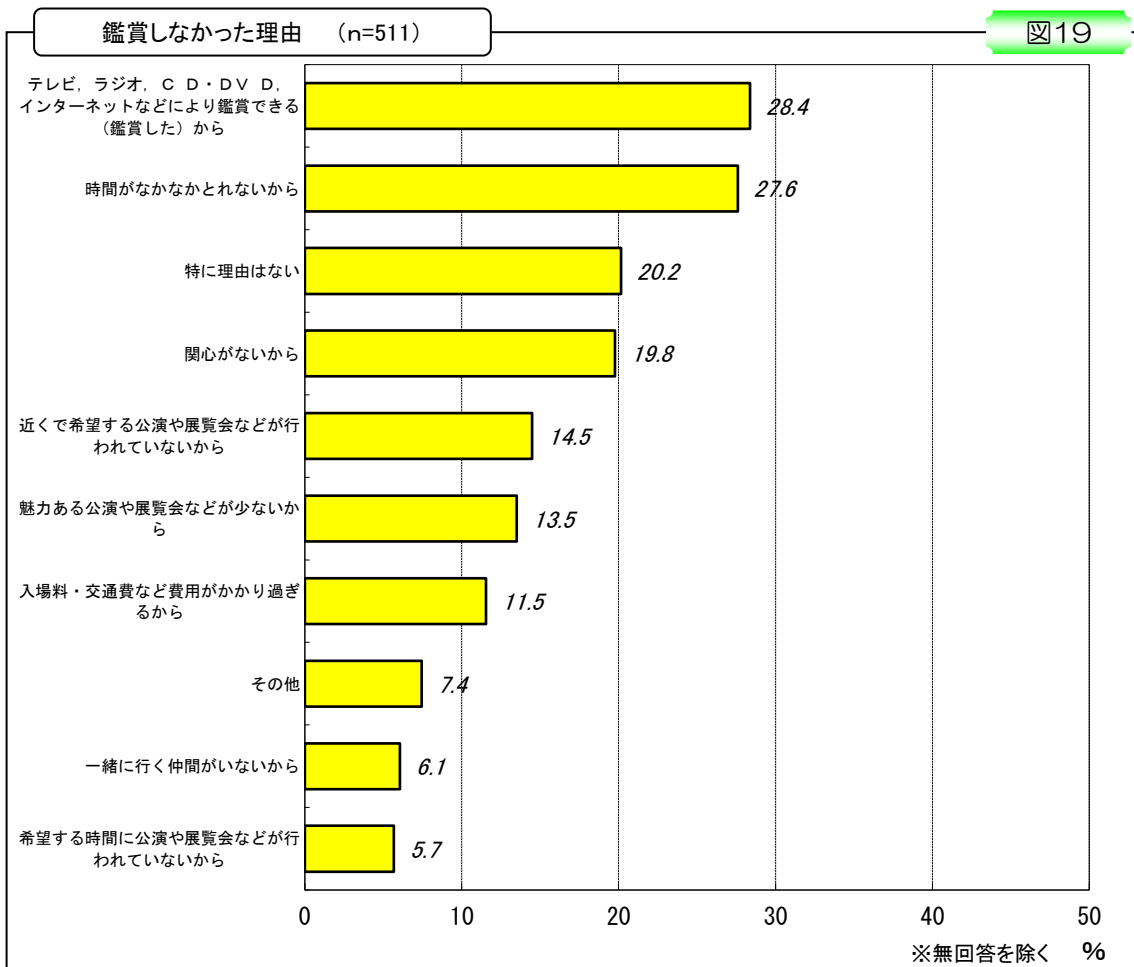
◇「文化芸術を直接鑑賞しなかった」と回答した513人に、その理由を12の選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

☞ 「文化芸術を直接鑑賞しなかった」とした理由は、[テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）から]が最も多く28.4%（145人）、2番目に多いのは[時間がなかなかとれないから]で27.6%（141人）、3番目は[特に理由はない]で20.2%（103人）となっています。（図19）

図18-1（再掲）



※無回答を除く %

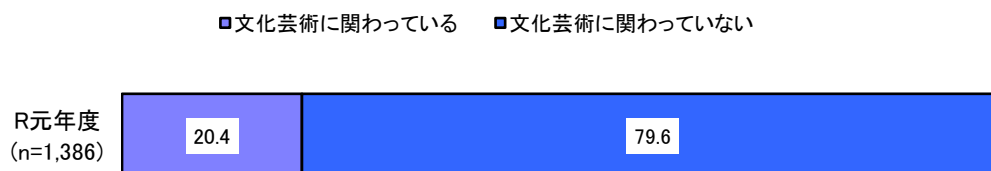


問20 文化芸術に関わる活動を行ったか？

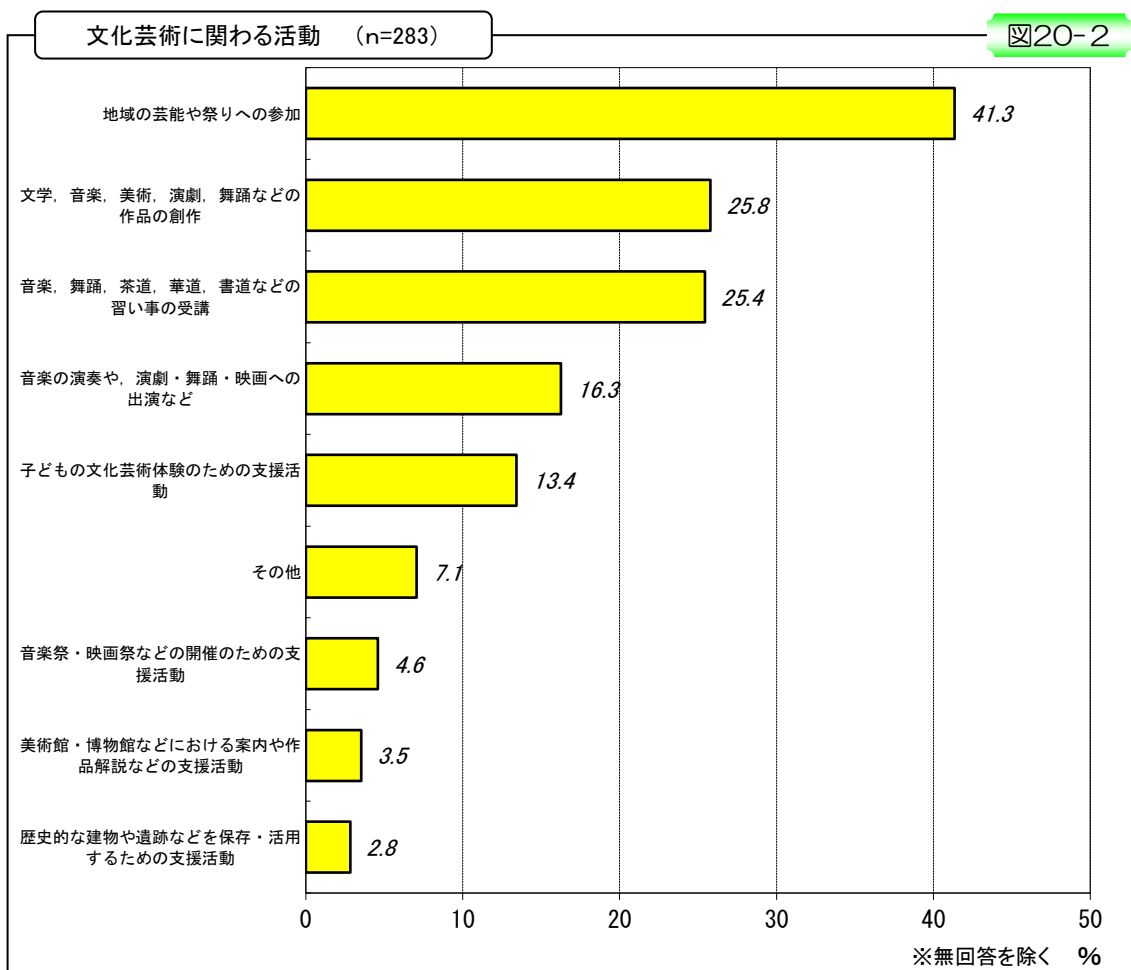
◇文化芸術を直接鑑賞する以外に、この1年間における文化芸術に関わる活動について、10の選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

- ✎ 「文化芸術に関わっている」とした割合は、20.4%（283人）となっています。（図20-1）
- ✎ 「文化芸術に関わっている」とした内訳は、[地域の芸能や祭りへの参加]が最も多く41.3%（117人）、2番目に多いのは[文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作]で25.8%（73人）、3番目は[音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講]で25.4%（72人）となっています。（図20-2）

図20-1



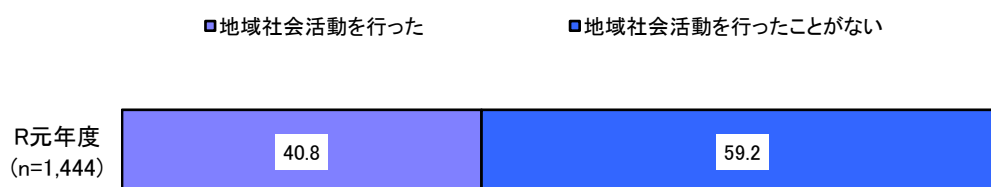
※無回答を除く %



問21 この1年間に地域社会活動を行ったか？

- ① 「地域社会活動を行った」とした人の割合は、40.8% (589人) となっています。(図21-1)
- ② 「地域社会活動を行った」とした内訳は、[町内会活動] が最も多く、78.4% (462人)、2番目に多いのは[子ども会やPTA、青少年の育成など、子どもに関する活動] で25.6% (151人)、3番目は [地域の防犯や交通安全、防災に関する活動] で13.9% (82人) となっています。(図21-2)

図21-1



※無回答を除く %

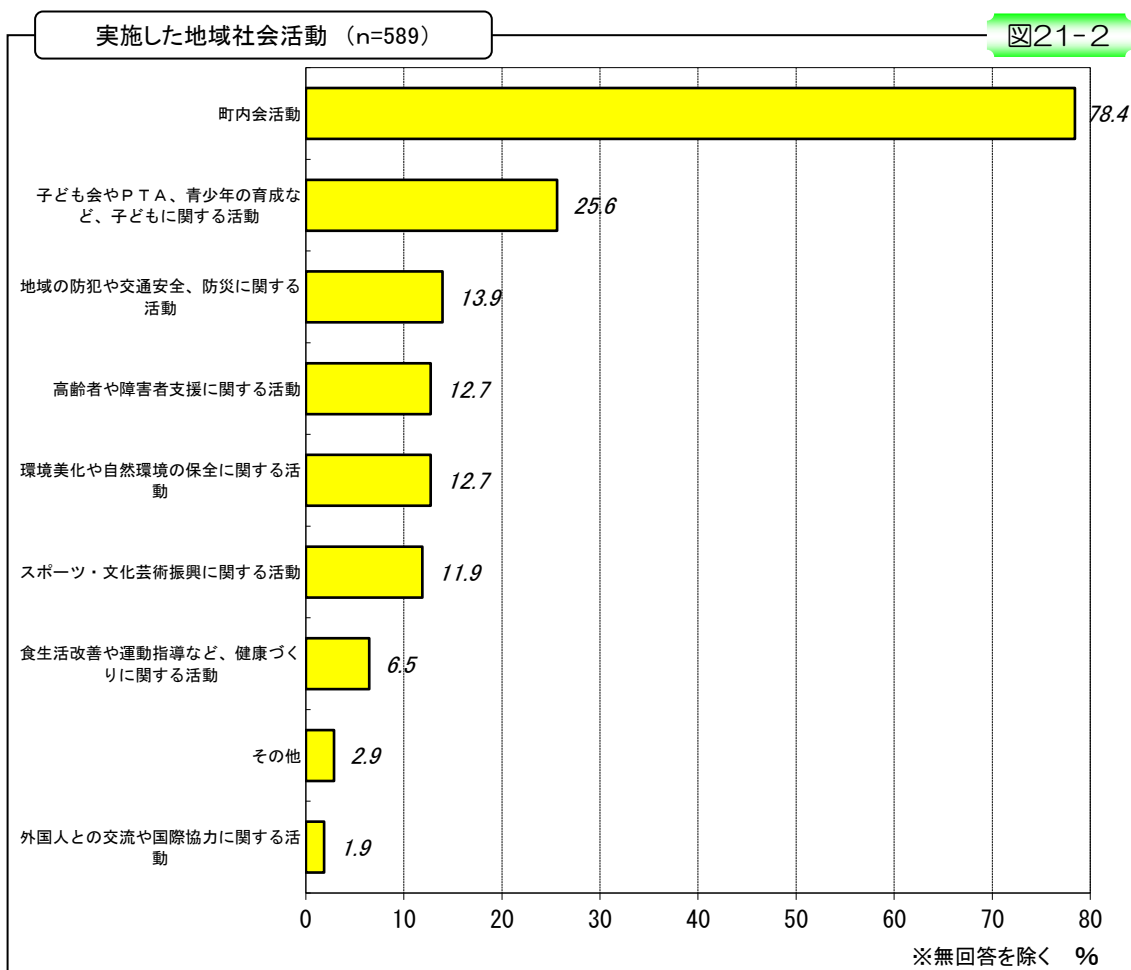


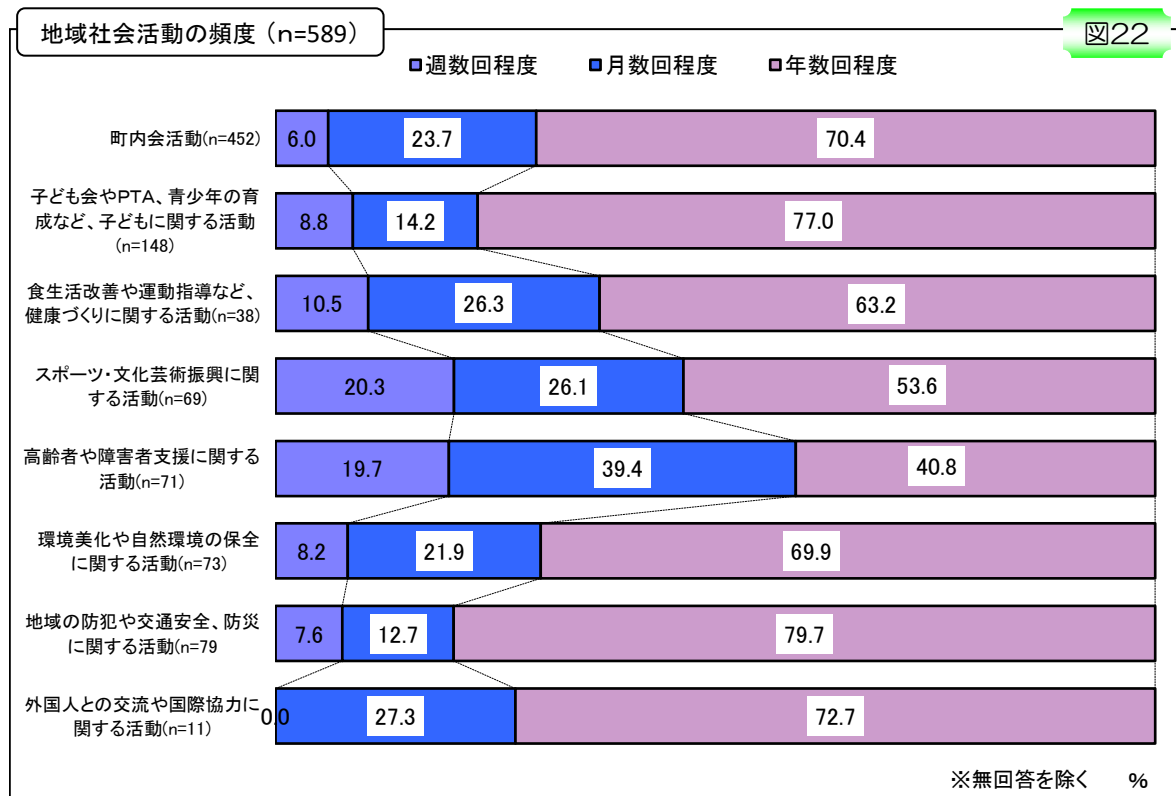
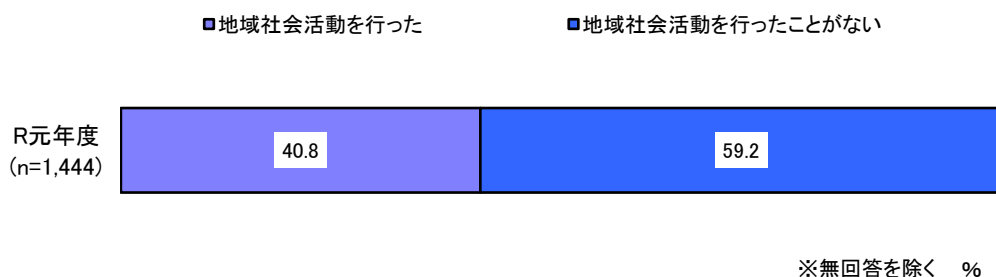
図21-2

問22 地域社会活動の頻度は？

◇「地域社会活動を行った」と回答した589人に、活動の頻度を3つの選択肢から1つ回答してもらいました。

✎ 週数回程度と月数回程度を合わせた活動の頻度では、[高齢者や障害者支援に関する活動]が最も活動の頻度が高く、2番目に多いのは[スポーツ・文化芸術振興に関する活動]、3番目は[食生活改善や運動指導など、健康づくりに関する活動]となっています。（図22）

図21-1（再掲）

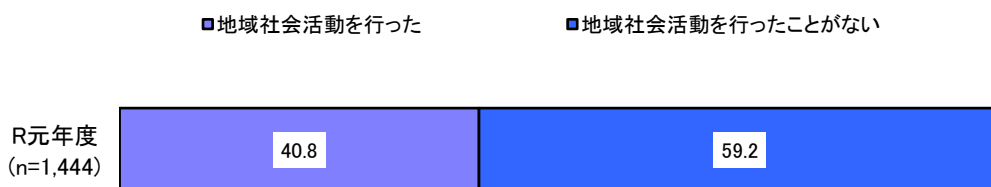


問23 地域社会活動を行わなかった理由は？

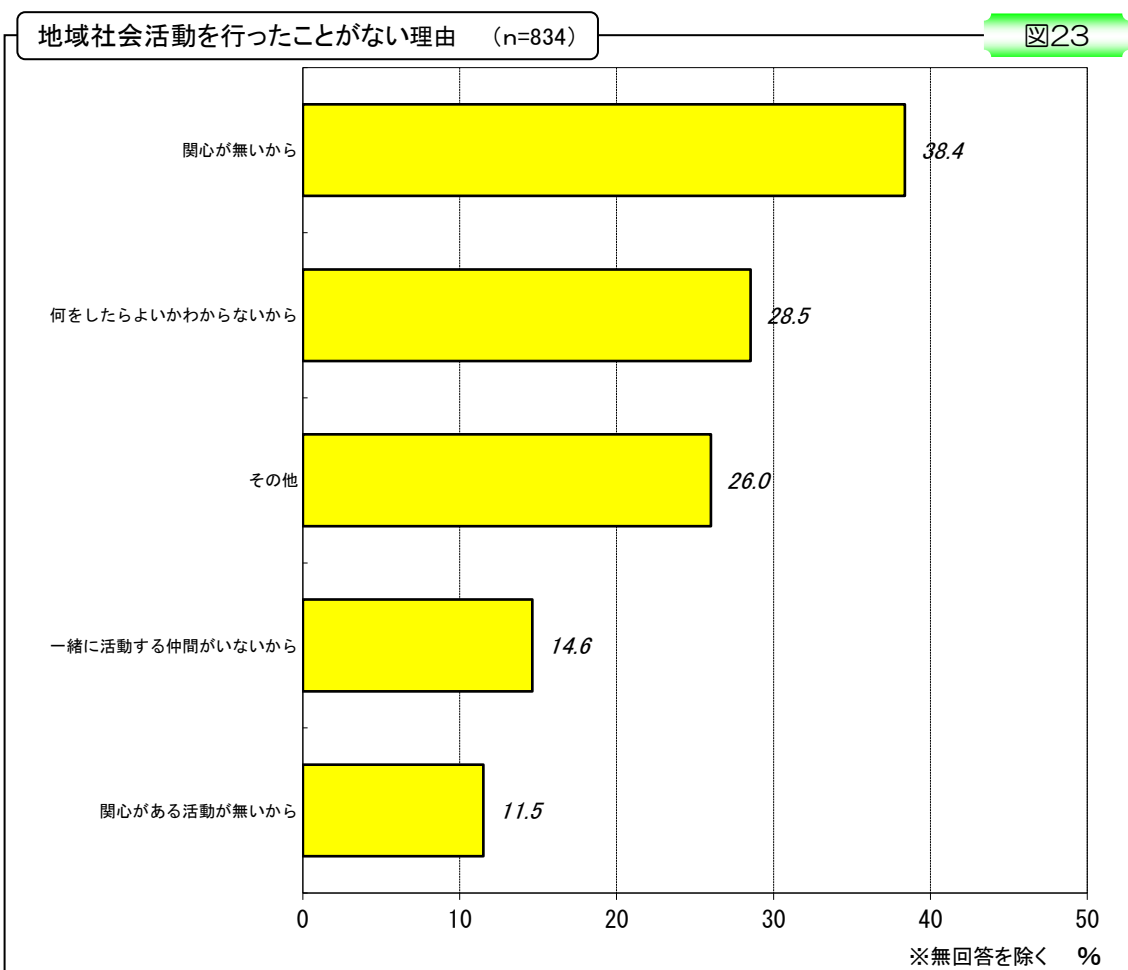
◇「地域社会活動を行ったことがない」と回答した855人に、その理由を5つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

✎ 「地域社会活動を行ったことがない」とした理由は、[関心が無いから]が最も多く38.4% (320人)、2番目に多いのは[何をしたらよいかわからないから]で28.5% (238人)、3番目は[その他]で26.0% (217人)となっています。(図23)

図21-1 (再掲)



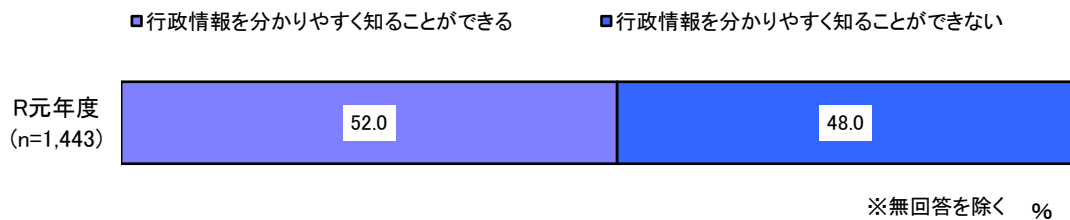
※無回答を除く %



問24 行政情報を分かりやすく知ることができるか？

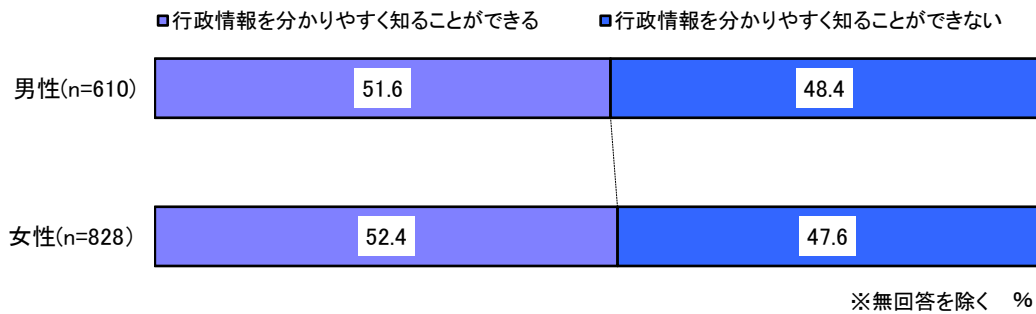
- 「行政情報を分かりやすく知ることができる」とした人の割合は、52.0%（751人）となっています。（図24-1）
- 男女別で「行政情報を分かりやすく知ることができる」とした割合は、[男性]51.6%（315人）、[女性]52.4%（434人）となっています。（図24-2）
- 年代が上がるにつれて「行政情報を分かりやすく知ることができる」とした割合が高くなる傾向があります。（図24-3）

図24-1



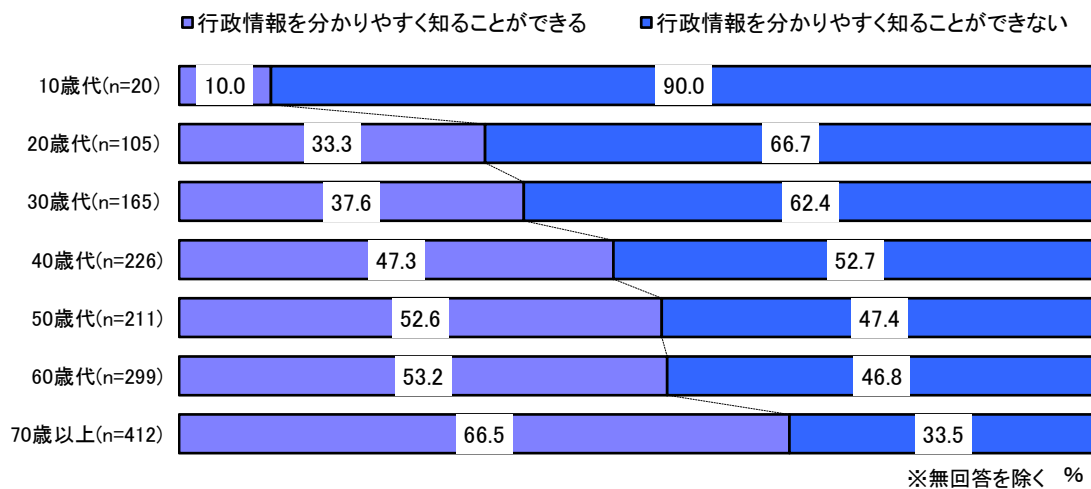
○ 男女別で比較 ○

図24-2



○ 年代別で比較 ○

図24-3

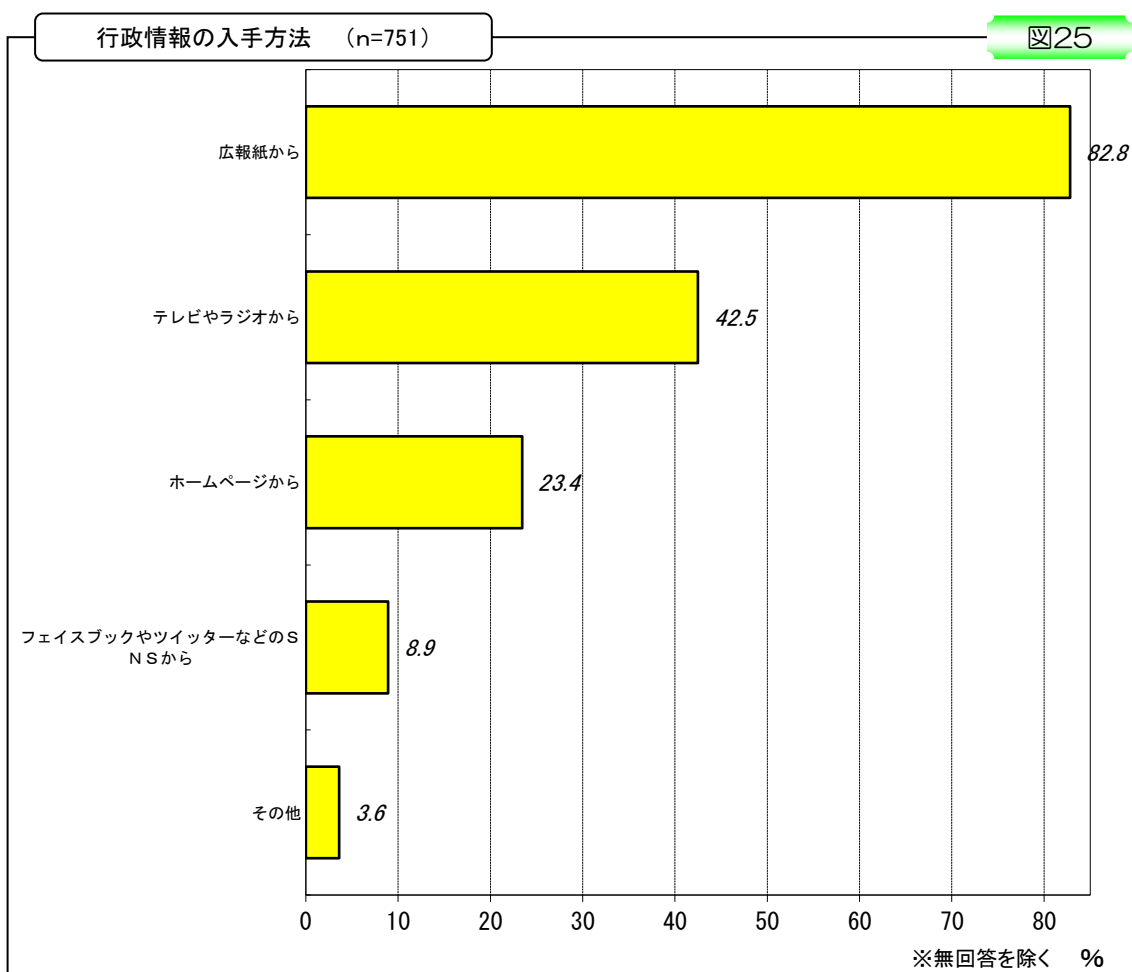
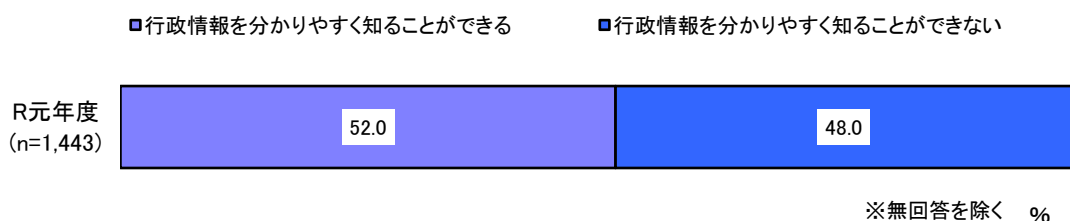


問25 行政情報の入手方法は？

◇「行政情報を分かりやすく知ることができる」と回答した751人に、その理由を5つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

☞ 「行政情報を分かりやすく知ることができる」とした理由は、[広報紙から]が最も多く82.8%(622人)、2番目に多いのは[テレビやラジオから]で42.5%(319人)、3番目は[ホームページ]で23.4%(176人)となっています。(図25)

図24-1 (再掲)

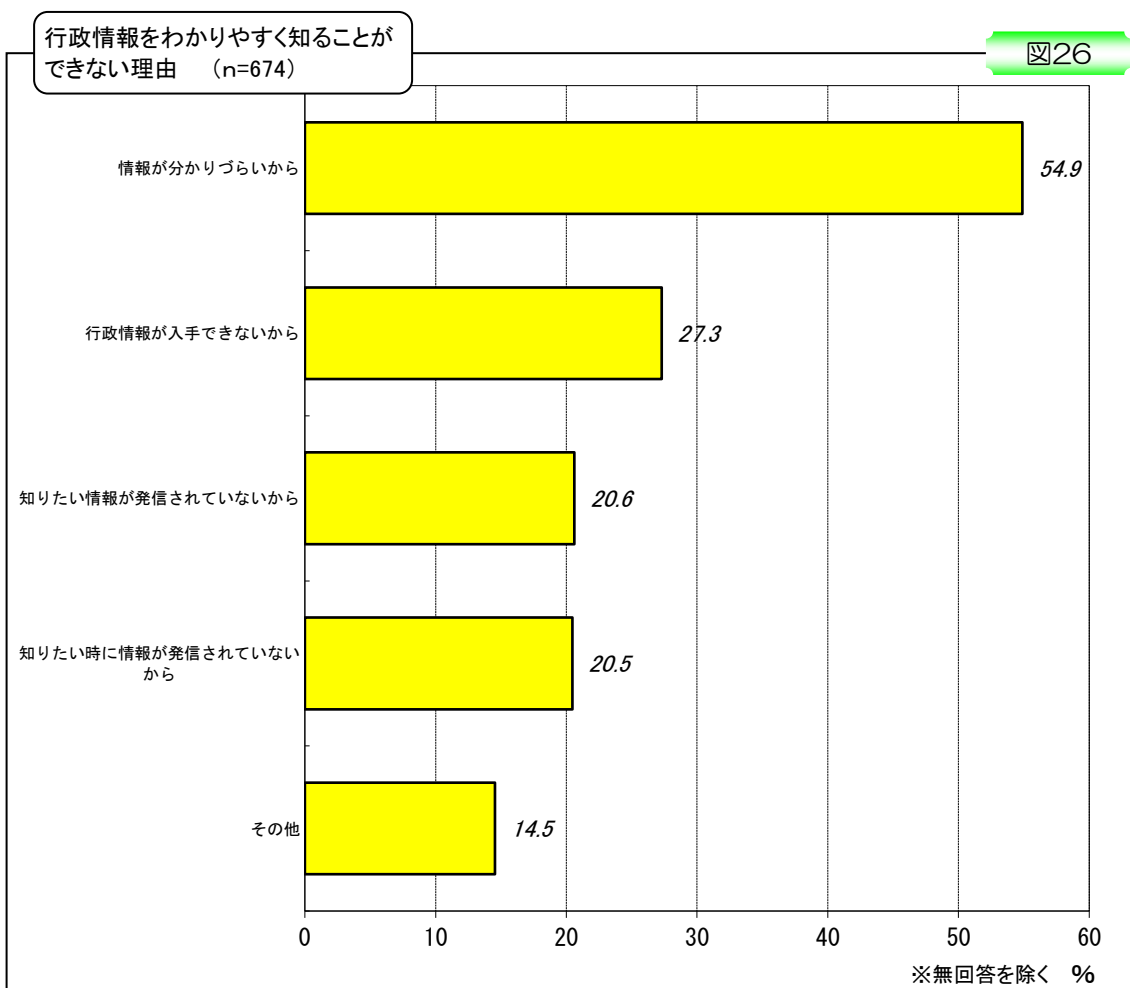
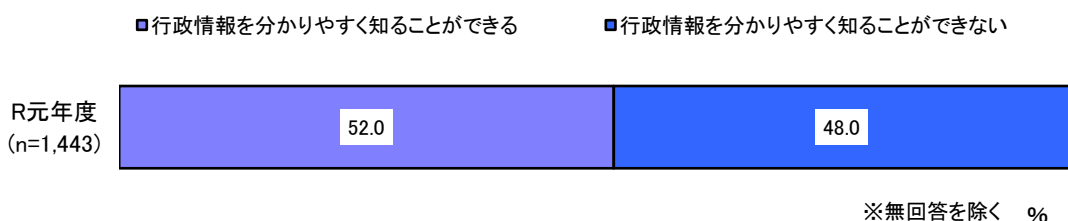


問26 行政情報をわかりやすく知ることができない理由は？

◇「行政情報をわかりやすく知ることができない」と回答した692人に、その理由を5つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

☞ 「行政情報をわかりやすく知ることができない」とした理由は、[情報がわかりづらいから]が最も多く、54.9%(370人)、2番目に多いのは[行政情報が入手できないから]で27.3%(184人)、3番目は[知りたい情報が発信されていないから]で20.6%(139人)となっています。(図26)

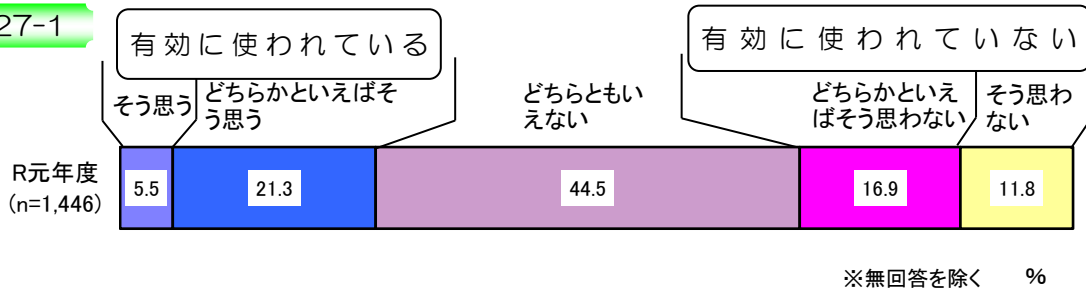
図24-1 (再掲)



問27 まちづくりのために有効に税金が使われていると思うか？

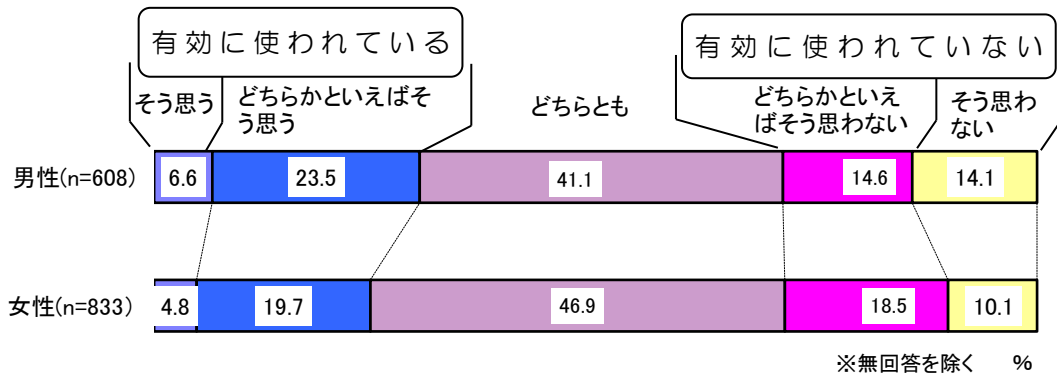
- 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた“有効に使われている”とした人の割合は、26.8%（388人）となっています。（図27-1）
- 男女別で“有効に使われている”とした割合は、[男性]30.1%（183人）、[女性]24.5%（204人）となっています。（図27-2）
- 年代が上がるにつれて“有効に使われている”とした割合が高くなる傾向があります。（図 27-3）

図27-1



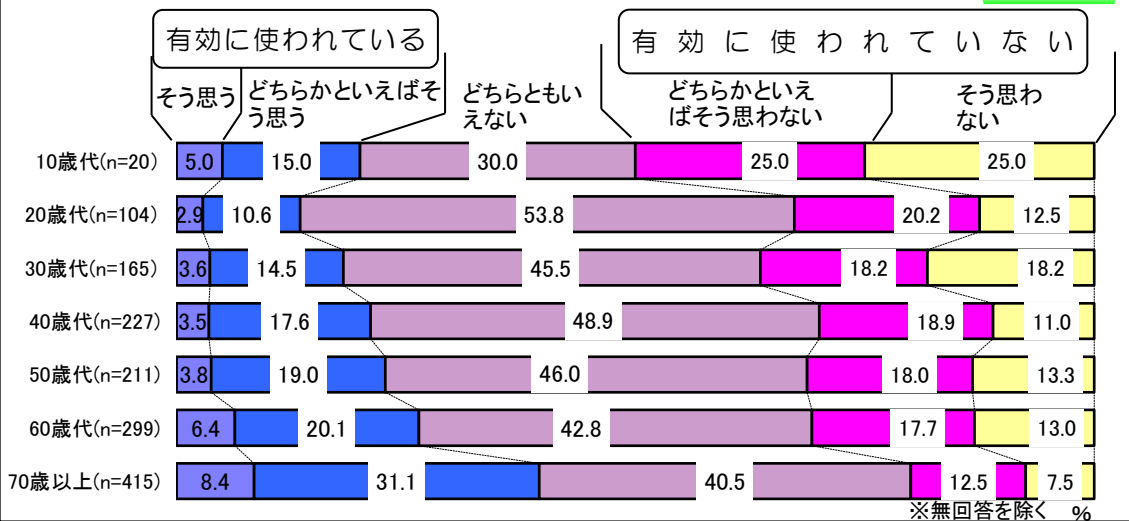
○ 男女別で比較 ○

図27-2



○ 年代別で比較 ○

図27-3

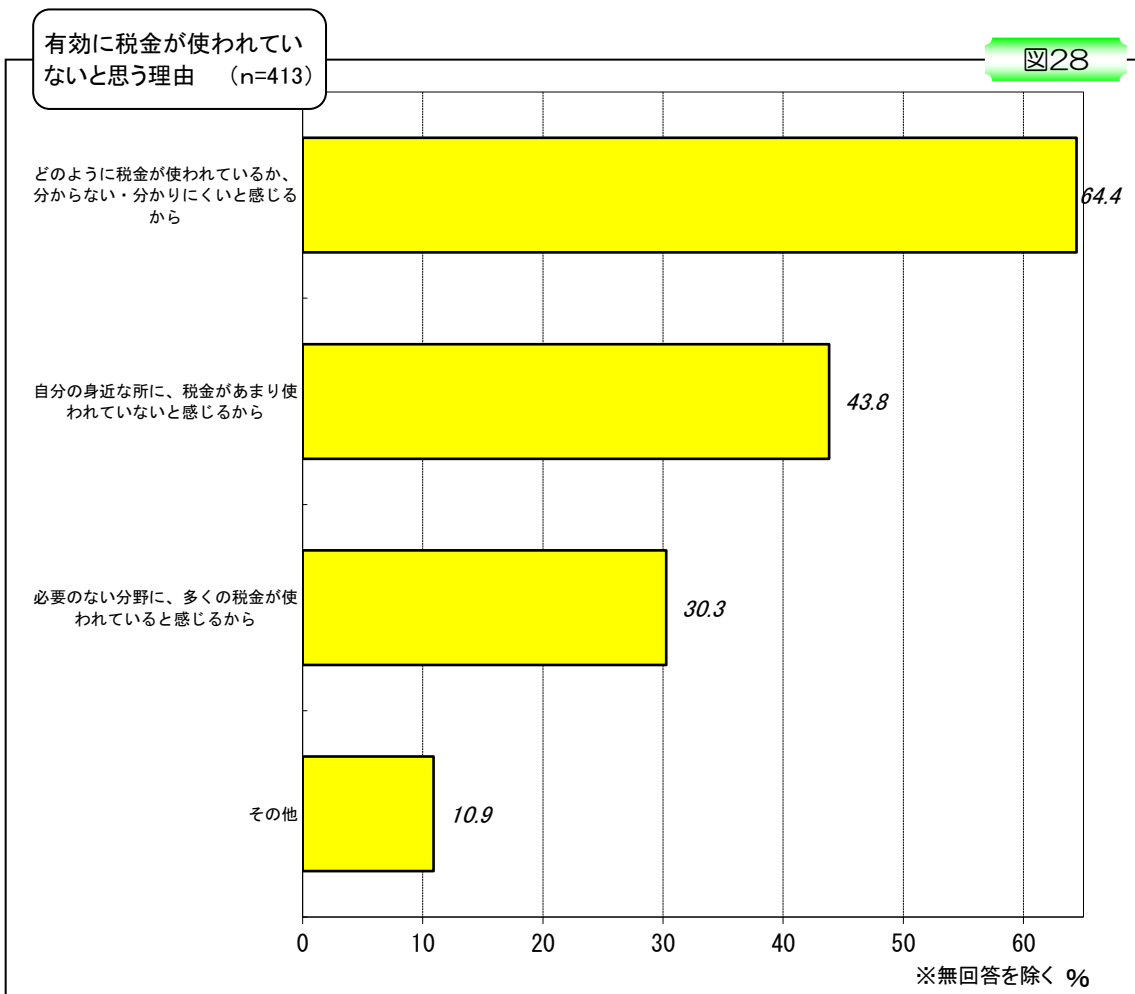
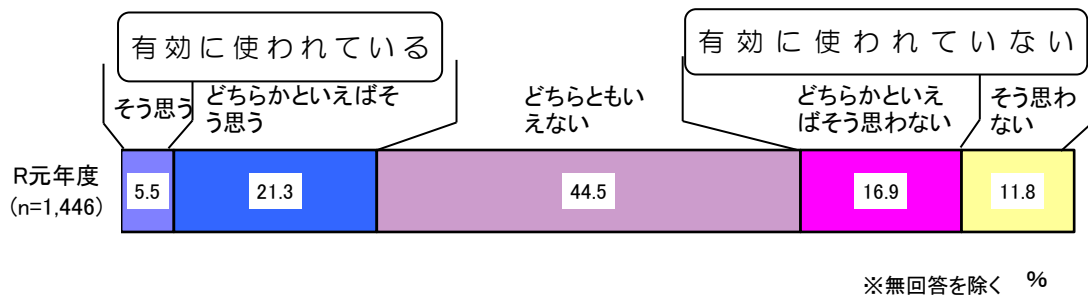


問28 有効に税金が使われていないと思う理由は？

◇「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」を合わせた「有効に使われていない」とした415人に、その理由を4つの選択肢からあてはまるものをいくつでも回答してもらいました。

☞ “有効に税金が使われていない”とした理由は、[どのように税金が使われているか、分からない・分かりにくいと感じるから]が最も多く、64.4%(266人)、2番目に多いのは[自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから]で43.8%(181人)、3番目は[必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから]で30.3%(125人)となっています。(図28)

図27-1(再掲)



6 自由記述意見（まちづくりに対する意見・提案）

◇アンケートでは、まちづくりに対する意見や提案について自由に記述していただく欄を設け、548人の方から、1,027件のご意見・ご提案をいただきました。（お1人で複数の項目に関するご意見などをいただいていることがあるため、人数と件数は一致しません）
いただいたご意見・ご提案は、今後のまちづくりに活用させていただきます。

☞ いただいたご意見・ご提案を内容別に分類すると、下表のとおり、道路環境・交通ネットワークに関すること、産業・にぎわいに関することが多くなっています。

項目	件数
道路環境・交通ネットワークに関すること	168 件
産業・にぎわいに関すること	111 件
子育て支援・青少年に関すること	92 件
教育や生涯学習・スポーツに関すること	89 件
行政事務・サービスに関すること	89 件
環境保全・廃棄物に関すること	56 件
地域の活動・支えあいに関すること	48 件
高齢者福祉に関すること	44 件
まちづくり全般に関すること	43 件
交通安全・防犯に関すること	43 件
その他	42 件
公園・緑地に関すること	39 件
医療・保健に関すること	28 件
社会保障と税に関すること	27 件
雇用に関すること	23 件
防災に関すること	20 件
水道・下水道に関すること	16 件
アンケートに関すること	14 件
住環境に関すること	13 件
議会に関すること	11 件
障害福祉に関すること	9 件
墓地に関すること	2 件
(計)	1,027 件

参考資料) 市民まちづくりアンケート票

アンケートは、次の2区分について実施しています。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・・・・・・・・ (問1～10)
- (2) 暮らしぶりについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (問11～28)

令和元年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。
問1～4について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

問1 あなたの性別は？

1. 男 2. 女

問2 あなたの年齢は？（12月1日現在の年齢で記入してください。）

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

1. 会社員・店員 2. 商・工・サービス業等の自営業 3. 農・林・漁業 4. 公務員
5. 自由業 6. 主婦 7. 学生 8. 無職 9. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

1. 1年未満 2. 1年～5年未満 3. 5年～10年未満 4. 10年～20年未満
5. 20年以上

問14 スポーツの実施以外に、この1年間でのあなたのスポーツとの関わりについてお聞きします。次の中からあてはまるものをお選びください。（あてはまるものはいくつでも選んでください）

1. スポーツを観戦した
2. スポーツの指導や大会の運営など、運動やスポーツに関するボランティア活動を行った
3. その他（ ）
4. 何もしていない

問15 あなたは、この1年の間に「生涯学習」を行いましたか。

「生涯学習」について

この調査における「生涯学習」とは、人々がいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動など、学校教育から社会教育、地域社会などで学ぶさまざまな学習活動のことをいいます。

1. 行った



問16へすすむ

2. 行っていない



問17へすすむ

問16 問15で「1. 行った」とお答えの方にお聞きします。あなたがこの1年の間に行った学習活動について、次の中からあてはまるものをお選びください。（あてはまるものはいくつでも選んでください）

1. 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）
2. 教養的なもの（文化、歴史、科学、語学など）
3. 社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）
4. 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
5. 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
6. 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
7. 就職や転職のために必要な知識・技能（就職や転職に関係のある知識の習得や資格の取得など）
8. 職業において必要な知識・技能（現在の仕事のスキルアップや仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
9. 情報通信分野の知識・技能（SNSの利用の仕方など）
10. ボランティア活動のために必要な知識・技能
11. 自然体験や生活体験などの体験活動
12. その他（ ）

問17 問15で「2. 行っていない」とお答えの方にお聞きします。この1年間で「生涯学習」を行わなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをお選びください。
(あてはまるものはいくつでも選んでください)

1. 仕事が忙しくて時間がないから
2. 家事・育児・介護などが忙しくて時間がないから
3. 特に必要がないから
4. きっかけがないから
5. 身近なところに学習する場がないから
6. 時間帯が希望に合わないから
7. 学習するための費用がかかるから
8. 学習より優先したいことがあるから (具体的に)
9. 一緒に学習する仲間がないから
10. 学習するのに必要な情報 (内容・時間・場所・費用など) が入手できないから
11. 学習したい内容の講座が開設されていないから
12. 学習しても職場から評価されないから
13. その他 ()
14. 特に理由はない

問18 あなたは、この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などで文化芸術を直接鑑賞したことはありますか。次の中からあてはまるものをお選びください。
(あてはまるものはいくつでも選んでください)

1. 音楽 (オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など)
2. 美術 (絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など)
3. 演劇 (現代演劇、人形劇、ミュージカルなど)
4. 舞踊 (日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど)
5. 映画 (アニメを除く)
6. アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート (メディアアート) など
7. 伝統芸能 (雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など)
8. 芸能 (講談、落語、浪曲、漫才など)
9. 歴史的な建物や遺跡 (建造物、遺跡、名勝地 (庭園など) の文化財)
10. その他 ()
11. 鑑賞したことはない



「11.」をお選びの方は、問19へすすむ

問19 問18で「11. 鑑賞したことはない」とお答えの方にお聞きします。鑑賞しなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをお選びください。（あてはまるものはいくつでも選んでください）

1. 近くで希望する公演や展覧会などが行われていないから
2. 入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから
3. 公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難だから
4. 時間がなかなかとれないから
5. 希望する時間に公演や展覧会などが行われないから
6. 魅力ある公演や展覧会などが少ないから
7. 公演や展覧会などの情報が入手できないから
8. 一緒に行く仲間がいないから
9. テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）から
10. 関心がないから
11. その他（)
12. 特に理由はない

問20 文化芸術に関わる活動は、作品鑑賞だけではなく、自分で作品を創作したり、習い事をしたり、あるいはボランティアとしてこれらの活動を支援することなどがあります。あなたは、この1年間に、次の中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。（あてはまるものはいくつでも選んでください）

1. 文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作
2. 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など
3. 音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講
4. 地域の芸能や祭りへの参加
5. 子どもの文化芸術体験のための支援活動
6. 美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動
7. 音楽祭・映画祭などの開催のための支援活動
8. 歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動
9. その他（)
10. 活動したことはない

問24 あなたは、行政情報を分かりやすく知ることができていると思いますか。

1.はい



問25へすすむ

2.いいえ



問26へすすむ

問25 問24で「1. はい」とお答えした方にお聞きします。行政情報をどのように入手していますか。（あてはまるものはいくつでも選んでください）

1. 広報紙から
2. ホームページから
3. フェイスブックやツイッターなどのSNSから
4. テレビやラジオから
5. その他（ ）

問26 問24で「2. いいえ」とお答えした方にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものはいくつでも選んでください）

1. 行政情報が入手できないから
2. 情報が分かりづらいから
3. 知りたい情報が発信されていないから
4. 知りたい時に情報が発信されていないから
5. その他（ ）

問27 あなたは、まちづくりのために、有効に税金が使われていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない



「4. 」 「5. 」をお選びの方は、問28へすすむ

問28 問27で「4. どちらかといえばそう思わない」、「5. そう思わない」とお答えした方にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものはいくつでも選んでください）

1. どのように税金が使われているか、分からない・分かりにくいと感じるから
2. 必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから（具体的に： ）
3. 自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから
4. その他（ ）

Blank lined area for survey responses.

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかどうか、もう一度ご確認ください、同封の返信用封筒に入れ
令和2年1月13日（月）までにポストに投函してください。（切手は不要です。）

このアンケートに関して、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

帯広市西5条南7丁目1 **帯広市 政策推進部 企画課**
直通TEL：0155-65-4105、FAX：0155-23-0151、e-mail：plan@city.obihiro.hokkaido.jp

令和元年度市民まちづくりアンケート

(集計結果)



令和2年2月

帯 広 市

政策推進部 企画課

〒 080-8670

帯広市西5条南7丁目1番地

TEL 0155-65-4105

FAX 0155-23-0151

E-Mail plan@city.obihiro.hokkaido.jp